

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071100001
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松元 光春			区分	
授業の概要					
動物の血管作動物質の機能形態学的研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は動物形態学、特に腺組織および腎臓の構造について、最近報告された文献をもとに、比較形態学、機能形態学、あるいは予防法などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071100002
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松元 光春			区分	
授業の概要					
動物の血管作動物質の機能形態学的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の比較解剖学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定して、実験方法を組立て、必要な材料を収集、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	5071100003
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡 達三			区分	
授業の概要					
高等動物における細胞内代謝が生理活性物質や栄養素によって制御される機構を分子レベルで解明する研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は高等動物の細胞内代謝や遺伝子発現の栄養制御について、最近報告された文献をもとに、細胞内代謝の分子機構あるいはビタミンの分子栄養学などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071100004
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡 達三			区分	
授業の概要					
高等動物における細胞内代謝が生理活性物質や栄養素によって制御される機構を分子レベルで解明する研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	5071100005
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮本 篤			区分	
授業の概要					
薬物の作用機序に関する比較薬理学的研究					
授業の一般目標					
この講義の目的は、「獣医薬理学」の中でも、特に心臓血管分野で深く学ぼうとする学生に対して関連する最新の情報を教授することである。特に薬物受容体と情報伝達はその中心となる。薬物に対する反応性の動物種差についても触れる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071100006
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮本 篤			区分	
授業の概要					
薬物の作用機序に関する比較薬理学的研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は「獣医薬理学」の中でも、内因性活性物質の受容体と情報伝達に関連する最新の文献を通して、論理的に考え、議論できるようになることである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071100007
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮本 篤			区分	
授業の概要					
薬物の作用機序に関する比較薬理学的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立、必要な材料をフィールドから収集、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071100008
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	高瀬 公三			区分	
授業の概要					
家畜・家禽、野生動物が保有するウイルス、細菌の病原学的意義、およびその免疫に関する研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は動物感染症、特に鳥の病気について、最近報告された文献をもとに、病原体の性状、診断技術、あるいは予防法などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	5071100009
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	高瀬 公三			区分	
授業の概要					
家畜・家禽、野生動物が保有するウイルス、細菌の病原学的意義、およびその免疫に関する研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は動物感染症、特に鳥の病気について、最近報告された文献をもとに、病原体の性状、診断技術、あるいは予防法などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071100010
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤崎 幸蔵			区分	
授業の概要					
マダニによる Babesia 原虫の媒介機構に関する分子基盤解明のための分子疫学的研究					
授業の一般目標					
近年の分子生物学的手法の飛躍的進展によって、長年アンタッチャブルな研究領域であった節足動物による病原体の媒介機構についても、分子・遺伝子レベルでの解明が進み、いくつかはノーベル賞クラスの大成果となっている。本講義では、マダニによる Babesia 原虫の媒介機構について、これらのエポックメイキングな最新の先端的知見を中心に解説し、専攻学生が「媒介」と「伝搬」をキーワードとして獣医感染症に対する理解をさらに深めることを大きな目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5071100011
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤崎 幸蔵			区分	
授業の概要					
マダニによる Babesia 原虫の媒介機構に関する分子基盤解明のための分子疫学的研究					
授業の一般目標					
節足動物による原虫媒介機構の研究を遂行するために必要な基礎的・基盤的な技法を学ぶ。本演習では、マダニと Babesia 原虫のハンドリングに関する基本操作を解説・演習する。とくに蚊などの一般的吸血性節足動物とは大いに様相を異にするマダニの吸血・消化の特異性を理解することによって、Babesia 原虫媒介機構の他との相違性についても理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071100012
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤崎 幸蔵			区分	
授業の概要					
マダニによる Babesia 原虫の媒介機構に関する分子基盤解明のための分子疫学的研究					
授業の一般目標					
Babesia などの人獣の衛生に大きな関わりをもつ原虫に対するマダニなどの吸血性節足動物による媒介機構を解明するために必要な基本的操作法を学ぶ。本実験は、実験室内飼育系統のマダニと、in vivo、in vitro 継代されている Babesia 原虫株を用いて行い、節足動物による病原体媒介を解明するための基本的技術の全般における習得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071100013
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	安田 宣紘			区分	
授業の概要					
野生動物における各種疾病の本質を形態学的および機能的面から究明し、比較を行う分野の研究					
授業の一般目標					
各種動物とヒトに共通する疾病についての海外の最新の情報を収集、さらにそれらの内容を詳細に検討、理解した上で、研究への応用展開能力を高め、先進的な研究が行えるよう指導する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5071100014
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	安田 宣紘			区分	
授業の概要					
野生動物における各種疾病の本質を形態学的および機能的面から究明し、比較を行う分野の研究					
授業の一般目標					
学生の獣医学に関する研究能力(計画立案, 準備, 実験操作, 観察, 結果の組立, まとめ, 発表など)を, ある特定の実験テーマを設定しながら実験方法を組立, 必要な材料をフィールドから収集, 実験し, 得られたデータを解析, 考察することにより高める.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071100015
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 嘉六			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
この演習は、討論を進めながら行う講義である。食品媒介性疾患の疫学パターンの研究と評価に必要な技法を、問題の大きさの査定、発生調査、ならびに、リスク査定とリスク・コミュニケーションを含めて学習することを中心とする。食品媒介性疾患の理解と制御に必要な一般原則と方法論を習得することに重点を置く。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5071100016
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 嘉六			区分	
授業の概要					
予防衛生学					
授業の一般目標					
この特別実験においては、細菌検査に用いられる DNA を標的とした手法の習得を通して、研究能力(計画立案、準備、実験操作、結果の解析、まとめ、発表など)の向上を図ることを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	5071100017
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	中馬 猛久			区分	
授業の概要					
獣医公衆衛生に関わる病原体の予防と制御に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071100018
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	遠藤 泰之			区分	
授業の概要					
小動物の感染症における病態と治療に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071100019
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	遠藤 泰之			区分	
授業の概要					
小動物の感染症における病態と治療に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5071100020
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	出口 栄三郎			区分	
授業の概要					
獣医臨床分野における内科疾患やストレスと神経系・内分泌系・免疫系の相互作用を解明し疾病予防法について研究する					
授業の一般目標					
この講義の目的は、「病態免疫学」を深く学ぼうとする学生に、特に豚における生産獣医療に関する最新の情報を教授することである。我が国および日本における生産システム、生産を阻害する飼養管理上のストレスと免疫機能の低下、それと関連する豚における主要疾病とその予防法について講義する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5071100021
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	出口 栄三郎			区分	
授業の概要					
獣医臨床分野における内科疾患やストレスと神経系・内分泌系・免疫系の相互作用を解明し疾病予防法について研究する					
授業の一般目標					
この演習の目的は産業動物のうち特に豚の生産獣医療システムについて、最近報告された文献をもとに、集団における飼養管理方法、病原体の性状、診断技術、予防法などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071100022
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	出口 栄三郎			区分	
授業の概要					
獣医臨床分野における内科疾患やストレスと神経系・内分泌系・免疫系の相互作用を解明し疾病予防法について研究する					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立、必要な材料をフィールドから収集、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071100023
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	高木 光博			区分	
授業の概要					
産業動物を対象として、生産性を阻害する主要な疾患の病態解明とその予防法の開発					
授業の一般目標					
この講義の目的は、「産業動物獣医学」を深く学ぼうとする学生に、特に肉用牛と乳用牛における生産獣医療に関する最新の情報を教授することである。我が国における生産システム、肉用牛と乳用牛における主要疾病とその防除法などについて講義する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071100024
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	高木 光博			区分	
授業の概要					
産業動物を対象として、生産性を阻害する主要な疾患の病態解明とその予防法の開発					
授業の一般目標					
この演習の目的は産業動物獣医学、特に肉用牛と乳用牛の生産獣医療システムについて、最近報告された文献をもとに、病原体の性状、診断技術、あるいは予防法などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071100025
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	高木 光博			区分	
授業の概要					
業動物を対象として、生産性を阻害する主要な疾患の病態解明とその予防法の開発					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立、必要な材料をフィールドから収集、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	5071100026
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	大和 修			区分	
授業の概要					
家畜臨床生化学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この講義の目的は、「家畜臨床生化学」の最新の情報を大学院生に提供することであり、この学問領域における問題解決能力を高度化することである。各種疾患の診断および予後判定に必要な検査学である「臨床病理学」、「細胞診」、「分子遺伝学」などの最新の情報を含んでいる。中でも遺伝病および血液病に関することを中心に取り扱う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金3~4	時間割コード	5071100027
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	大和 修			区分	
授業の概要					
家畜臨床生化学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は、動物の疾患について、最近報告された文献情報をもとに、その臨床生化学的ならびに臨床病理学的診断技術について紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力および問題解決能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5071100028
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	大和 修			区分	
授業の概要					
家畜臨床生化学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を高めるために、家畜臨床生化学分野の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立て、必要な材料を収集し、実験し、得られたデータを解析、考察する。これにより科学者としての資質を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071100029
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	桃井 康行			区分	
授業の概要					
伴侶動物の疾患に対する診断法や治療法についての分子生物学的手法を用いた研究と開発					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5071100030
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	桃井 康行			区分	
授業の概要					
伴侶動物の疾患に対する診断法や治療法についての分子生物学的手法を用いた研究と開発					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071100031
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	桃井 康行			区分	
授業の概要					
伴侶動物の疾患に対する診断法や治療法についての分子生物学的手法を用いた研究と開発					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071100032
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	矢吹 映			区分	
授業の概要					
動物疾患の病態と診断に関する組織学的および細胞学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5071100033
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	矢吹 映			区分	
授業の概要					
動物疾患の病態と診断に関する組織学的および細胞学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071100034
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	矢吹 映			区分	
授業の概要					
動物疾患の病態と診断に関する組織学的および細胞学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5071100035
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	三角 一浩			区分	
授業の概要					
動物の外科疾患の病態を基礎および臨床獣医学的手法を用いて究明することによって、科学的根拠に基づく獣医外科診断・治療法の開発に役立てる					
授業の一般目標					
この演習の目的は動物の内視鏡検査および鏡視下手術、特に整形外科にて有用な関節鏡検査法を大学院生に実習させ、整形外科医としての診断・治療技術の向上に役立てる。X線、MRI、超音波検査にない関節軟骨や軟部組織に関する画像情報や、外科的侵襲の少ない鏡視下手術法を関節外科分野における研究の一手法として適用できるようにする。獣医医療ではまだなじみの少ない、硬性鏡の取り扱い方、操作、および手術法を実習するとともに、関節内構造物の内視鏡所見の評価法について解説する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071100036
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	三角 一浩			区分	
授業の概要					
動物の外科疾患の病態を基礎および臨床獣医学的手法を用いて究明することによって、科学的根拠に基づく獣医外科診断・治療法の開発に役立てる					
授業の一般目標					
動物の関節疾患の分子病態を理解し、病状や予後を反映する分子マーカーを見出すことを目的とする。専攻学生に対して、骨軟骨・滑膜の細胞外基質代謝に関する具体的な研究テーマを与え、実験計画立案、準備、実験操作、評価、結果の組立、まとめ、発表および論文作成という基本的な研究の流れを指導し、研究課題を解決させる。得られた研究成果に基づき、学生自らが新しい仮説をもち、それを実証するための独創的な研究立案と実験へと発展させ、新発見を得ることが望ましい。動物の関節症病態評価のために有益な新しい学説と診断法開発へとつなげることによって、臨床獣医学的研究の面白さを教授する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071100037
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	窪田 力			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071100038
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	窪田 力			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5071200001
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	上原 正人			区分	
授業の概要					
神経系に関する発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071200002
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	上原 正人			区分	
授業の概要					
神経系に関する発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071200003
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	上原 正人			区分	
授業の概要					
神経系に関する発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5071200004
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	今川 智敬			区分	
授業の概要					
家畜・家禽を含む脊椎動物の発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5071200005
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	今川 智敬			区分	
授業の概要					
家畜・家禽を含む脊椎動物の発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071200006
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	今川 智敬			区分	
授業の概要					
家畜・家禽を含む脊椎動物の発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	5071200007
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	太田 康彦			区分	
授業の概要					
実験動物における器官形成及び腫瘍発生機構に関する実験形態学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、実験動物の取り扱い、管理についての基本的事項ならびに実験動物を用いた研究方法、手技、実施計画法を大学院生に提供することであり、この領域における問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。さらに、この授業の目的として、実験動物を用いたの研究をを目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、医学、獣医学領域の新しい機材、薬剤の開発にともなう動物実験を実施している企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071200008
開設科目名	基礎獣医学特例演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	太田 康彦			区分	
授業の概要					
実験動物における器官形成及び腫瘍発生機構に関する実験形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071200009
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	太田 康彦			区分	
授業の概要					
実験動物における器官形成及び腫瘍発生機構に関する実験形態学的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、実験動物の取り扱い、管理についての基本的事項ならびに実験動物を用いた研究方法、手技、実験計画法を大学院生に提供することであり、この領域における問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。さらに、この実験の目的として、実験動物を用いたの研究をを目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、医学、獣医学領域の新しい機材、薬剤の開発にともなう動物実験を実施している企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071200010
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	渋谷 泉			区分	
授業の概要					
神経細胞、神経内分泌細胞、内分泌細胞の機能調節機構に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071200011
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	渋谷 泉			区分	
授業の概要					
神経細胞、神経内分泌細胞、内分泌細胞の機能調節機構に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5071200012
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	渋谷 泉			区分	
授業の概要					
神経細胞、神経内分泌細胞、内分泌細胞の機能調節機構に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071200013
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山野 好章			区分	
授業の概要					
内分泌攪乱物質が哺乳類の精子形成機構に与える影響					
授業の一般目標					
この授業の目的は最新の生化学、分子生物学手法を用いて解明されてきた動物の生命現象を大学院生に提供することであり、この領域における問題解決能力を学生に与えることにある。この授業は獣医学基礎研究を目指す学生、既にその業務に従事している学生のみならず、獣医学臨床に必要な診断薬、治療薬はもとより栄養食品などの開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生を対象としている。以上の目的のために、本講義では最新の研究成果に基づき、生化学、分子生物学研究の手法、問題解決法、研究成果の評価について講述すると共に受講学生に対して最新の獣医生化学を学び取る機会を与えることをめざしている。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5071200014
開設科目名	基礎獣医学特例実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山野 好章			区分	
授業の概要					
内分泌攪乱物質が哺乳類の精子形成機構に与える影響					
授業の一般目標					
この授業の目的は分子生物学、遺伝子工学技術を用いて特に動物の生殖系に発現する遺伝子の分析、内分泌攪乱物質がこれらの遺伝子の発現にどのような影響を与えるかを分析するための基本的な実験、研究技術を大学院生に提供することであり、この領域における問題解決能力を学生に与え、高度化することにある。この授業は獣医学基礎研究者をはじめ、動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、既に企業に就職している学生を対象とし、最新の研究技術、知識を教授する。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、得られた結果から論理的な分析をするための能力が求められている。本授業を受講することにより最新の分子生物学分析法と問題解決能力を学び取ることができる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071200015
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山野 好章			区分	
授業の概要					
内分泌攪乱物質が哺乳類の精子形成機構に与える影響					
授業の一般目標					
この授業の目的は分子生物学、遺伝子工学技術を用いて特に動物の生殖系に発現する遺伝子の分析、内分泌攪乱物質がこれらの遺伝子の発現にどのような影響を与えるかを分析するための基本的な実験、研究技術を大学院生に提供することであり、この領域における問題解決能力を学生に与え、高度化することにある。この授業は獣医学基礎研究者をはじめ、動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、既に企業に就職している学生を対象とし、最新の研究技術、知識を教授する。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、得られた結果から論理的な分析をするための能力が求められている。本授業を受講することにより最新の分子生物学分析法と問題解決能力を学び取ることができる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	5071200016
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	村瀬 敏之			区分	
授業の概要					
この授業では、病原微生物学、とくに細菌感染症の起因菌、病原因子、疫学及び感染予防対策に関する最新のテーマ(話題)について講義する。近年の細菌学研究の進展により、分類体系の見直し、環境中の培養不能な状態の菌の存在、病原性の発現機序、薬剤耐性機構及び薬剤耐性遺伝子の伝達等に関する重要な発見がなされている。このような細菌学に関する最新の知見を紹介し、今後の細菌感染症について論考する。					
授業の一般目標					
細菌の分類体系、分離法、型別法、病原性の発現機序、薬剤耐性機構及び薬剤耐性遺伝子の伝達等に関する最新の知見を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071200017
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村瀬 敏之			区分	
授業の概要					
細菌学、とくに分子遺伝学、薬剤耐性、食品衛生に関する最新の論文(英文)を教材に検討する。細菌感染症の疫学の観点から、同一菌種を細分し菌株を識別することが要求され、分子遺伝学的方法が急速に発達した。薬剤耐性に関しては新しい耐性機構と耐性伝達機構等が問題となっている。また、物流の発達にともなう食品媒介性感染症の同時多発的な発生の報告が増加している。このような情報に触れ、細菌に関する今日的課題への対処について考察する。					
授業の一般目標					
科学論文における独特の英語表現に慣れ、記述されている実験内容を理解する。著者が、どのような目的で実験を行い、その結果何が明らかになり、どのような課題が残ったのか、今後何を明らかにするべきであるのかを理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071200018
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村瀬 敏之			区分	
授業の概要					
この授業では、臨床材料や環境材料から目的とする菌を分離、菌種を同定し、さまざまな細菌学的性状を精査するために必要な知識の習得を目的とする。微生物学実験を行なう上での基本的な留意事項を体得した上で、細菌の染色法、生化学的性状の検査法、菌株の識別にかかわる種々の型別法を実習する。また、薬剤感受性試験、遺伝子検出のためのPCR法、遺伝子伝達機構に関する理解を深める。					
授業の一般目標					
微生物学実験の特徴、すなわち、感染の危険とその防除を理解する。分子生物学実験における正確な手技を理解する。実験計画の立案を自ら行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5071200019
開設科目名	病態・予防・産科医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	實方 剛			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	5071200020
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡本 宗裕			区分	
授業の概要					
人獣共通寄生虫の分子進化・生物多様性とそれらによる寄生虫症の診断・予防・制圧					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071200021
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 宗裕			区分	
授業の概要					
人獣共通寄生虫の分子進化・生物多様性とそれらによる寄生虫症の診断・予防・制圧					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071200022
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	島田 章則			区分	
授業の概要					
気中の浮遊粒子状物質の呼吸器毒性についての病理学的研究					
授業の一般目標					
<p>病気の原因は、外因(物理的、化学的、生物学的)および内因(性差、年齢、遺伝子異常など)に分けることができる。外因は健康な個体の身近なところ、すなわち、水、空気、食物などの諸環境中に存在する。病気をもたらす因子は、個体に侵入すると、遺伝子—高分子—細胞—組織—臓器—循環器系や神経系などの系—個体全体などさまざまなレベルで接点を持ち影響をおよぼす。本講義では、病因としての環境内諸因子と個体が備えた防御系(免疫や防御蛋白)のインターアクション、恒常性破綻・病気発生のメカニズムについて学習する。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071200023
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	島田 章則			区分	
授業の概要					
大気中の浮遊粒子状物質の呼吸器毒性についての病理学的研究					
授業の一般目標					
病気の原因としての環境内諸因子のうち、気道から侵入する因子(感染性因子、重金属、浮遊粒子状物質)の肺組織内での動態、生体防御系による防御、炎症や腫瘍発生のメカニズムについて病理標本の観察を交えて学習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071200024
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	島田 章則			区分	
授業の概要					
大気中の浮遊粒子状物質の呼吸器毒性についての病理学的研究					
授業の一般目標					
大気を長期間吸入した自然個体(犬、猫、クジラや鳥などの野生動物)および実験的に水銀蒸気、シリカ、カーボン、黄砂などの大気汚染物質を気道内に曝露したマウスの肺組織内に蓄積した諸元素の分析データと肺組織標本内の病理像(線維化、気腫、石灰化など)を比べ大気汚染物質の生体への影響について学習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071200025
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	森田 剛仁			区分	
授業の概要					
動物の様々な神経疾患に関する病理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、動物の脳、脊髄、末梢神経並びに眼球(網膜および視神経)を含む神経系の疾患の臨床症状、病態生理および病理像を最新の知見も含めて大学院生に提供することであり、同時にヒトの同様の神経系疾患についても概説し、比較病理学の見地から動物の神経系疾患について説明する。本授業は専攻学生に対して最新の獣医神経病理学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071200026
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	森田 剛仁			区分	
授業の概要					
動物の様々な神経疾患に関する病理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、動物の様々な神経系疾患の症例の Computed tomographic (CT) scanning 画像および Magnetic resonance images (MRI) 画像の観察、肉眼解剖、特殊染色、免疫染色および電子顕微鏡による標本観察を通じ、神経系疾患の理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071200027
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	森田 剛仁			区分	
授業の概要					
動物の様々な神経疾患に関する病理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、動物の中枢神経系疾患のうち、血管障害、感染症、腫瘍、変性疾患および脱髄疾患の標本観察を通じ、その病態の理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5071200028
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 壽啓			区分	
授業の概要					
人獣共通感染症病原体の生態、遺伝子進化、宿主域制限因子及び病原性決定因子の究明並びにその予防・制圧に関する研究					
授業の一般目標					
この授業では地球上に存在する様々な動物由来感染症について、その公衆衛生上の重要性を生態学的および環境学的側面から理解し、実際に感染症の発生時に様々な方面から対応可能な知識を習得することを目的とする。とくに近年我が国で問題となっている人獣共通感染症についてその発生状況ならびに防遏・予防対策について詳細に解説するとともに、現時点での防疫上の問題点等について考察する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071200029
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 壽啓			区分	
授業の概要					
人獣共通感染症病原体の生態、遺伝子進化、宿主域制限因子及び病原性決定因子の究明並びにその予防・制圧に関する研究					
授業の一般目標					
この授業では近年世界中で問題となっている動物由来の新興感染症についてケーススタディとして実際の事例を紹介しながら、それらの発生に関わる様々な要因、例えば宿主と寄生体の関係、社会的要因、経済的要因、地球環境の変化要因などについて解析するとともに、危機管理体制上の問題点について演習形式で学習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071200030
開設科目名	病態・予防疫学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 啓史			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071200031
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 剛士			区分	
授業の概要					
鳥類感染症における病態発現の分子機構と分子疫学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
鳥類は、病原微生物の宿主および媒介動物として重要な役割を果たしている。本演習では、鳥類に病原性を示す病原微生物、特にウイルス感染症について、その病態発現の分子機構と分子疫学的解析による病原微生物媒介動物としての鳥類の果たす役割について、その背景となる理論と実際について演習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071200032
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 剛士			区分	
授業の概要					
鳥類感染症における病態発現の分子機構と分子疫学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
鳥類は、病原微生物の宿主および媒介動物として重要な役割を果たしている。本演習では、鳥類に病原性を示す病原微生物、特にウイルス感染症について、その病態発現の分子機構と分子疫学的解析による病原微生物媒介動物としての鳥類の果たす役割について、その背景となる理論と実際について演習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071200033
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	日笠 喜朗			区分	
授業の概要					
動物の内科的疾患の病態生理生化学並びに診断と治療法に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
本授業の目的は、小動物内科における最新の診断と治療情報を臨床獣医学分野での活躍を志す大学院生に教授し、この分野における高度な知識と問題解決能力を身につけさせるとともに、将来、内科分野におけるリーダーとして活躍できるような人材を育成することである。この目的に対して、動物の内科的疾患の病態生理生化学ならびにその診断法と治療法に関する基礎および臨床学的事項についての講義を行なう。特に、生活習慣病、老年病、循環器病の最新情報、特定難病や遺伝性疾患である心筋症、肥満、高脂血症、内分泌疾患、アトピー性皮膚炎について講義する。また、内科診断と治療薬としての α -アドレナリン受容体およびイミダゾリン受容体作用薬の臨床的有用性、さらにそれら受容体変化と病気との関連を講義する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	5071200034
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	日笠 喜朗			区分	
授業の概要					
動物の内科的疾患の病態生理生化学並びに診断と治療法に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
<p>本授業の目的は、小動物内科における最新の診断と治療技術を臨床獣医学分野での活躍を志す大学院生に教授し、この分野における高度な技術力を身につけさせるとともに、将来、内科分野におけるリーダーとして活躍できるような人材を育成することである。この目的に対して、生活習慣病、老年病、循環器病における診断法と治療法に関する演習を行なう。特に、特定難病や遺伝性疾患である心筋症、肥満の血液検査法、生化学的検査法、遺伝子診断法、超音波珍談法、ラジオイムノアッセイの演習を行う。また、内科診断と治療薬としての 2-アドレナリン受容体作用薬のラジオレセプターアッセイを実施する。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5071200035
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	日笠 喜朗			区分	
授業の概要					
動物の内科的疾患の病態生理生化学並びに診断と治療法に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
本授業の目的は、小動物内科における最新の診断と治療に係わる実験を臨床獣医学分野での活躍を志す大学院生に教授し、この分野における研究者としての人材を育成することである。この目的に対して、動物の内科的疾患の診断法と治療法に関する基礎および臨床学的事項についての実験を行なう。特に、生活習慣病、老年病、循環器病の最新情報、特定難病や遺伝性疾患である心筋症について実験する。また、内科診断と治療薬としての β -アドレナリン受容体およびイミダゾリン受容体作用薬の臨床的有用性についての実験を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5071200036
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹内 崇			区分	
授業の概要					
中枢および末梢神経系疾患についての電気生理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、小動物および大動物の臨床検査における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域に対する問題解決能力を高度化することにある。特に、中枢神経系疾患の各種検査手技ならびに、その評価法と意義を正しく理解することは、正確な診断と治療方針の確立に不可欠な要素であり、この授業を通して中枢神経系疾患における機能的な評価法を教授する。さらに、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生に対しては、画像診断等の評価法と本授業内容を相互理解することによって、さらに病態の理解を深めることに視点を置く。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071200037
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹内 崇			区分	
授業の概要					
中枢および末梢神経系疾患についての電気生理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、小動物および大動物の臨床検査における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域での問題解決能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。さらに、実際に検査機器を操作し、記録を解析することを通して、中枢神経系疾患の機能評価を正しく行うためのステップアップを図る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5071200038
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹内 崇			区分	
授業の概要					
中枢および末梢神経系疾患についての電気生理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、疼痛管理における新規物質の効果に対する獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域での問題解決能力を高度化することにある。さらに、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。特に、新規鎮痛物質の探索など、動物のQOL向上を目指して今後必要性が高まる分野に主眼をおき、解析方法を体験するとともに、新規物質の評価方法を他分野に活用できるよう、基礎知識から応用面まで含めて教授する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071200039
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	南 三郎			区分	
授業の概要					
獣医外科臨床における新しい治療技術の開発と特に創傷治癒メカニズムの解明に関する研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の軟部組織および整形外科における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071200040
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	南 三郎			区分	
授業の概要					
獣医外科臨床における新しい治療技術の開発と特に創傷治療メカニズムの解明に関する研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の腹腔鏡外科手術の最新技術を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071200041
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	南 三郎			区分	
授業の概要					
獣医外科臨床における新しい治療技術の開発と特に創傷治癒メカニズムの解明に関する研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の軟部組織における新規物質の効果に対する獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5071200042
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 芳晴			区分	
授業の概要					
動物の腫瘍に対する新しい治療技術の開発に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の腫瘍における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域に対する問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す院生、あるいは既にその業務にある院生のみならず、獣医学のための新しい薬剤や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している院生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床腫瘍学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071200043
開設科目名	臨床獣医学特例演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 芳晴			区分	
授業の概要					
動物の腫瘍に対する新しい治療技術の開発に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の細胞診の知識と技術を大学院生に提供することであり、この領域に対する問題解決に対する院生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す院生、あるいは既にその業務にある院生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している院生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071200044
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 芳晴			区分	
授業の概要					
動物の腫瘍に対する新しい治療技術の開発に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の腫瘍に対する温熱療法、樹状細胞療法およびがんワクチン療法の獣医学情報を大学院生に提供することであり、院生のこの領域に対する問題解決能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある院生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している院生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻生に対して最新の臨床腫瘍学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071200045
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	菱沼 貢			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学(体外受精 - 胚移植)に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は産業動物および伴侶動物の繁殖における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床繁殖学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
獣医繁殖学 第3版 / 浜名・中尾・津曲:文永堂出版,2006					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071200046
開設科目名	臨床獣医学特例演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	菱沼 貢			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学(体外受精 - 胚移植)に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は産業動物および伴侶動物の最新の繁殖技術を大学院生に提供することであり、問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床繁殖学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
獣医繁殖学 第3版 / 浜名・中尾・津曲:文永堂出版,2006					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071200047
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	永野 昌志			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5071300001
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
母子境界領域における免疫応答に関する機能形態学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、細胞組織化学における最新の情報を大学院生に提供することであり、この領域に対する学生の理解力と応用力を高度化することにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポートと発表能力を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071300002
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
母子境界領域における免疫応答に関する機能形態学的研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は、細胞組織化学における最新の技術を大学院生に提供することであり、この領域に対する技術力を大学院生に習得させることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と手法の獲得程度を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071300003
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
母子境界領域における免疫応答に関する機能形態学的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、細胞組織化学における最新の技術を大学院生に実際に提供することであり、この領域に対する大学院生の実践力を養うことにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と実験成績を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	5071300004
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	本道 栄一			区分	
授業の概要					
配偶子形成の機構、接合後の胚形成、生殖周期、有胎盤類における妊娠の維持までを形態学的側面から分子生物学的側面まで幅広く解説する。高等脊椎動物に限らず、脊椎動物全般、無脊椎動物についても概説する。					
授業の一般目標					
生物の進化の歴史、つまり生物の環境への適応の歴史は、個体の維持と子孫を残すという二つの大きな命題の上に成り立っている。本講義では後者について焦点をあて、子孫を残す原理を概説することで個人の生物観を養うことを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 最新の生殖生物学までの知識・理解					
成績評価方法(総合)					
試験のみにて評価を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071300005
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	本道 栄一			区分	
授業の概要					
生殖生物学講義と連携させる。各自一つのテーマを持ち、開講期間を通じて文献を調査し、各々のテーマについて理解を深める。調査した内容を他の受講者に発表することで発表能力の向上を目指す。また、各自のテーマを持ち合って討論する場を作り、生殖の意義について受講者個人の考えを持たせる。					
授業の一般目標					
受講者が固有の生物観を表現できるようになること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 最新の生殖生物学までの理解					
成績評価方法(総合)					
発表、討論のみによる評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071300006
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	本道 栄一			区分	
授業の概要					
生殖生物学研究を遂行する上での幅広い技術の修得を目指す。組織分離、培養、構造・遺伝子・タンパク質解析といった一連の基礎技術を修得させる。					
授業の一般目標					
生殖生物学に限らず、生物学全般に有用な技術を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生殖生物学研究の土台となる技術の理解・習得					
成績評価方法(総合)					
討論のみ					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071300007
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
脊椎動物の運動の統合神経制御の運動学、筋電図学、神経生理学、神経解剖学的、生化学的方法を用いた研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は動物理解の基本である locomotion の解析方法を理解することにある。指導する方法は運動学的方法と筋電図学的方法からなる。本授業では動物の運動を客観的に評価する方法、またその解析法を学ぶ。将来、応用、臨床分野においても有効な方法である。					
授業の到達目標					
その他の観点: 研究者として謙虚な態度で生体の秘密解明に対してしているかどうかで判断する。					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071300008
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
脊椎動物の運動の統合神経制御の運動学、筋電図学、神経生理学、神経解剖学的、生化学的方法を用いた研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は動物理解の基本である locomotion の解析方法を理解することにある。前期は個体全体を捉える方法について演習を行った。後期は神経のネットワークについて演習を行う。					
授業の到達目標					
その他の観点: 最も大切なのは生命に対する謙虚な態度である。					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071300009
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 晃一			区分	
授業の概要					
この特別実験の目的は、獣医学のみならず生命科学分野における薬理学に関する最新の情報と技術ならびに基礎的な技術を提供することであり、この領域における問題解決に対する学生の技術を高度化することにある。					
授業の一般目標					
薬理学研究に必要な各種実験手技を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 大学院生として基礎的な実験に関する知識が理解する。					
思考・判断の観点: 基礎的な実験から、さらに応用実験へ発展させることができる。					
成績評価方法(総合)					
出席状況を重視する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
古典的な薬理学実験手法から、先端のものまで幅広く学習する。					
連絡先					
佐藤晃一、農学部106号室					
オフィスアワー					
いつでも可					

開設期	前期	曜日時限	水3～4	時間割コード	5071300010
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	～
担当教員	前田 健			区分	
授業の概要					
獣医感染症の病態解析とその制御					
授業の一般目標					
各種感染症に関する最新の論文・総説を取り上げ、個々の感染症に関する問題点を把握し、その解決法に関して調査し、発表を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各種感染症に関する最新の論文・総説を取り上げ、個々の感染症に関する問題点を把握し、その解決法に関して調査し、発表を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071300011
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	前田 健			区分	
授業の概要					
獣医感染症の病態解析とその制御					
授業の一般目標					
ウイルス感染症に関する幅広い最新の実験手技を修得するとともに、疫学調査を通じて結果に関する解析能力を養成する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
理解・習得度を確認すると共にその応用力を問う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5071300012
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
感染症の実例を学ぶ。これにより、この領域における問題解決能力を高度化するとともに、今後の研究や臨床面におけるその適応能力を高める。					
授業の一般目標					
この授業の目的は、感染症を正しく診断し、予防・治療できる思考力を習得することにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
積極的な討論への参加が必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5071300013
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
感染症学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を学ぶ。これにより、この領域における問題解決能力を高度化するとともに、今後の研究や臨床面におけるその適応能力を高める。					
授業の一般目標					
この授業の目的は、感染症学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を習得する事にある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
積極的な討論への参加が必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071300014
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
感染症学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を学ぶ。これにより、この領域における問題解決能力を高度化するとともに、今後の研究や臨床面におけるその適応能力を高める。					
授業の一般目標					
この授業の目的は、感染症学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を習得する事にある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
積極的な討論への参加が必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5071300015
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
動物がどのようにして自己と非自己を識別しているかという問題が免疫学における中心課題である。動物は様々な外来性異物に対して反応し、それらを排除する。これが生体防御すなわち免疫である(液性および細胞性免疫)。一方免疫抑制(寛容)機序が免疫反応に関与する事が明らかとなってきた。そこで、免疫寛容破綻の機序について解説し、それらの知見がどのように予防や治療に応用可能であるかについて講義する。					
授業の一般目標					
免疫寛容破綻の機序の理解					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071300016
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
論文を作製するために必要な知識や論理的思考法の習得					
授業の一般目標					
免疫寛容(中枢および末梢)の破綻あるいは低下が免疫疾患の発病の引き金となる。遺伝・内分泌・環境要因などからの総合的な理解によって自己成分あるいは本来無害な物質に対して生体がどのように反応するかについて理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071300017
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
免疫病の病理発生(宿主と寄生体関係およびホメオスタシスの機序の解析を含む)を理解するための実験に必要な、様々なテクニック(遺伝子、蛋白、細胞、組織、血液・生化学など)の習得。					
授業の一般目標					
実験手技の習得					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5071300018
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	井上 誠			区分	
授業の概要					
小動物における腫瘍発生についての分子生物学的および免疫組織化学的研究					
授業の一般目標					
本講義の目的は小動物と人の腫瘍発生・悪性化の機構における分子遺伝子レベルの変化についての最新情報を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する院生の能力を高度化することにある。本講義では、獣医病理学並びに小動物臨床医を目指す学生、また医薬品企業において実験病理学にたずさわっている学生に対して最新の知識を教授する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
成績評価は授業外レポートと授業態度で行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071300019
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	井上 誠			区分	
授業の概要					
小動物における腫瘍発生についての分子生物学的および免疫組織化学的研究					
授業の一般目標					
本演習の目的は小動物と人の腫瘍発生・悪性化の機構における分子遺伝子レベルの変化についての最新情報を習得し、この領域の問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。本演習では、イヌとネコの腫瘍発生機構に注目し、さらに動物と人の腫瘍発生・悪性化の過程における癌遺伝子の過剰発現とサイクリン依存性キナーゼ・インヒビター(CDKIs)の異常発現の差異を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
成績評価は授業外レポートと受講者の発表で行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071300020
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	井上 誠			区分	
授業の概要					
小動物における腫瘍発生についての分子生物学的および免疫組織化学的研究					
授業の一般目標					
本実習の目的は小動物と実験動物の腫瘍における癌遺伝子の過剰発現およびサイクリン依存性キナーゼ・インヒビター(CDKIs)と癌抑制遺伝子異常発現の基礎的解析方法を習得することにある。小動物腫瘍およびメチルコラントレン(MC)誘発マウス皮膚腫瘍におけるMdm2癌遺伝子、p27, p21 CDKIsおよびp53癌抑制遺伝子発現を免疫組織化学的染色法とマイクロアレイを用いて解析する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
成績評価は授業内での製作標本の解析と授業外レポートで行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071300021
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	森本 将弘			区分	
授業の概要					
動物の病態を理解するためには、形態と機能の異常状態を再構築し、病態発生の機構を種々の方法を用いて詳細に検討する方法が用いられている。再構築の方法としては、突然変異動物を用いたり、種々の薬剤等が用いられている。そこで、種々の動物モデルの概説と現在まで明らかになっている知見を元に、実験病理学の基本を講義する。また、比較生物学的な知見から、その応用方法についての可能性を講義する					
授業の一般目標					
種々の病態モデルの発症機構の理解と、モデル動物の応用の可能性の考察					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 正常な形態・機能の知識と病理発生機構の理解。					
思考・判断の観点: 異常状態を種々の方法から再構築できる。					
関心・意欲の観点: 知識として様々なモデルを理解した上で、新規の知見からモデルを新たなツールとしての可能性を考えられるか？					
態度の観点: 既存のモデル等と病態との関連に興味を持てるか。					
技能・表現の観点: 質疑応答が的確に出来ているか？					
成績評価方法(総合)					
レポートや課題のプレゼンテーションにより評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5892					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水3～4	時間割コード	5071300022
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	～
担当教員	森本 将弘			区分	
授業の概要					
感染(ウイルス・寄生虫)による宿主の反応を理解するためには、免疫担当細胞の相互作用を把握することが重要である。免疫担当細胞は種々の液性因子を分泌する事により情報を伝えている。これらの液性因子の種々の感染症における動態を最新の知見から学ぶ。					
授業の一般目標					
免疫担当細胞の相互作用の基本的概念の取得。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 免疫担当細胞の基本知識と細胞間相互作用の理解					
思考・判断の観点: 各免疫担当細胞同士を細胞間相互作用によって理解できるか?					
関心・意欲の観点: 知識として様々な液性因子を理解した上で、新規の知見から免疫担当細胞の機能考察できるか?					
態度の観点: 免疫担当細胞と病態との関連に興味を持てるか。					
技能・表現の観点: 質疑応答が的確に出来ているか?					
成績評価方法(総合)					
試験と課題レポート、プレゼンテーションによって総合的に判定する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5892					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071300023
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	森本 将弘			区分	
授業の概要					
種々の病理発生を機構を解析するための実験に必要な様々な手技(遺伝子、蛋白等)の習得					
授業の一般目標					
実験手技の習得					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各種実験方法の原理に関する知識とその理解。					
思考・判断の観点: 実験手技でのトラブルシューティング可能とする。					
関心・意欲の観点: 実験開始時における、理解深度。					
態度の観点: 積極的に行っているかどうか。					
技能・表現の観点: 結果に関する考察等の表現。					
成績評価方法(総合)					
課題レポートと出席により総合的に評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5892					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071300024
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
家畜の免疫学的機能評価のためのサイトカイン・免疫担当細胞についての分子生物学的および細胞免疫学的研究					
授業の一般目標					
感染症および過敏症を中心に最近の知見について修得する。特に、感染症における免疫防御機構を免疫応答に重要な役割を担う抗原提示細胞(マクロファージ, 樹状細胞など), ヘルパーT細胞サブセットの発現・機能を中心に解説する。また, 過敏症の発生メカニズムについて概説し, 特に環境化学物質の過敏症誘発性について修得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート50%, 受講者の発表50%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
Iwata, H: E-mail hiwata@yamaguchi-u.ac.jp, TEL. 5899, Lab. Vet. Hygiene					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071300025
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
家畜の免疫学的機能評価のためのサイトカイン・免疫担当細胞についての分子生物学的および細胞免疫学的研究					
授業の一般目標					
感染症における免疫病態発現と診断・予防法に関する最新の知見について討論し、特にサイトカインプロファイルやケモカインに焦点を当て、各種感染症および過敏症における免疫防御メカニズムについて幅広い知識を習得し、各自の研究の位置づけを明確にする。尚、内容については個人の研究内容に応じて変更することがある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
宿題授業外レポート50%、演習50%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071300026
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
家畜の免疫学的機能評価のためのサイトカイン・免疫担当細胞についての分子生物学的および細胞免疫学的研究					
授業の一般目標					
生体材料からの感染体の検出を遺伝子診断法, 定量 PCR 法, 免疫組織学的手法により行い, 同時に感染体の分離同定を行う。さらに, 免疫応答に関与する様々な細胞機能病態を細胞表面マーカーおよびサイトカインの点から遺伝子, 蛋白, 細胞レベルで解析する。また, マイクロアレイ法を駆使して過敏症における新規マーカーの同定を試みる。技術的には, 各自の研究に役立てることを目的に, モノクローナル抗体の作製法, フローサイトメーター, 定量 PCR 法, マイクロアレイ法などについて教授する。尚, 内容については個人の研究内容に応じて変更することがある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
宿題授業外レポート 50%, 演習 50%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
Iwata, H: E-mail hiwata@yamaguchi-u.ac.jp, TEL 5899, Lab.Vet.Hygiene Kato, H: E-mail kato@yamaguchi-u.ac.jp, TEL 5899, Lab.Vet.Hygiene					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071300027
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	加藤 大智			区分	
授業の概要					
動物の免疫応答および生体防御機構に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
感染症に対する宿主の生体防御免疫応答や免疫学的診断法に関する最新の知見について討論し、近年のワクチン開発の進展ならびに問題点について討議する。尚、内容については個人の研究内容に応じて変更することがある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席・意欲重視					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071300028
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	加藤 大智			区分	
授業の概要					
動物の免疫応答および生体防御機構に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
動物およびベクターの検体からの病原体の検出を分子生物学的手法や病原体培養法、免疫組織化学法および分子生物学的手法を用いて行う。病原体の同定、ベクター種の同定を分子生物学的手法や形態学的手法を用いて行う。また、宿主免疫応答の解析を細胞学的手法や免疫学的手法を用いて行う。さらに種々のワクチンの作製や接種方法についても教授する。尚、内容については個人の研究内容に応じて変更することがある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席・意欲重視					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5071300029
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
この授業の目的は、近年、小動物臨床の現場にも応用可能となっている様々な分子生物学的手法の原理と応用例を教授し、研究者・教育者・臨床家としての基礎的な知識を身につけることにある。					
授業の一般目標					
研究者・教育者・臨床家としての基礎的な知識を身につけること					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
十分な知識を有するかを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5071300030
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
この授業の目的は将来的な研究者, 教育者, 臨床家として必要不可欠な問題提起能力とその具体的解決法の立案能力, 発表能力を身につけることにある。					
授業の一般目標					
この授業の目的は将来的な研究者, 教育者, 臨床家として必要不可欠な問題提起能力とその具体的解決法の立案能力, 発表能力を身につけることにある。また、授業を一貫して、他者の発表に対して正当かつ批判的な意見を述べることも要求される。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究者として十分なシミュレーション能力を有するかを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	前期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5071300031
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
この授業の目的は分子生物学的手技を会得し, 将来的に未知の手技に対しても臆することなく対応できる人材を養成することである。個々のテーマによって実際に行う手技は多様であるが, 講義内容に示した手技が主に行われる。					
授業の一般目標					
この授業の目的は分子生物学的手技を会得し, 将来的に未知の手技に対しても臆することなく対応できる人材を養成することである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究者として十分な能力を有するかを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	前期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5071300032
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
人体寄生虫病学研究の最新研究を「The American Journal of Tropical Medicine and Hygiene」掲載の論文から選び、その方法論と得られた結果を検討することで、寄生虫病学研究を進める基礎技術について理解を深める。また、その論文の意義について考察することで、当該疾患の置かれている現況と今後解決されるべき研究点について理解を深める。					
授業の一般目標					
公衆衛生・動物衛生に関わる寄生虫の疫学的監視とその基礎生物学的研究の意義について理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
自主学習、対話形式の講義への積極的な参加を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部 207 号室					
オフィスアワー					
在室なら随時					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071300033
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
公衆衛生・動物衛生に関わる寄生虫の疫学的監視とその基礎生物学的研究手法を学ぶ					
授業の一般目標					
獣医臨床(コンパニオンアニマル・産業動物)や公衆衛生に関わる獣医寄生虫病学の現場で課題となる点について、実際に調査・研究計画を立案し解析を進め、具体的な研究実技の修得を目指す。また、得られた結果について考察し、研究論文型式でまとめることで、調査・研究能力の育成を図る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
寄生虫学的な調査・研究能力の育成度を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5071300034
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	水野 拓也			区分	
授業の概要					
免疫学の基礎を復習するとともに、それらが臨床免疫学にどのように寄与しているのかを概説する。基礎免疫学と臨床免疫学の橋渡しを行う。また免疫介在性疾患を一通り概説する。					
授業の一般目標					
これまでの免疫学の基礎知識を再確認するとともに、臨床の中で免疫学が如何に多くの疾患に関わっているかを理解するとともに、様々な免疫介在性疾患のメカニズムを学び、実際に臨床の現場で免疫介在性疾患に遭遇したときに、正しく診断できるようになることが目標である。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
毎回の小テストおよび最終回の最終試験にて評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金3~4	時間割コード	5071300035
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	水野 拓也			区分	
授業の概要					
免疫学の分野においてノーベル賞受賞の対象となった論文を取り上げ、その読み方、内容の概説を行う。また、後半では最近のトップジャーナルの論文を読み、その内容を理解するとともに、論文の読み方を理解する。					
授業の一般目標					
科学論文を自分自身で読み、内容を理解するだけでなく、批判的な眼をもって何が正しく、何が正しくないのかを自身で検証できる能力を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
毎回の授業の中での論文の読み解きの程度、および最終試験により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071300036
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	水野 拓也			区分	
授業の概要					
この授業では、免疫学的な実験手法のうち基礎となるものを学び、論文を読む上で聞いた事があるが、実施した事はない、というような内容を実体験できるはずである。					
授業の一般目標					
この授業の目標は、免疫学を学ぶ上での基礎となる実験手技を実際に経験することにより、医学論文を理解する上で必要な実験手法を学ぶことにある。この授業を受講することにより、全ての手技を自分自身で実施できるようになるだけでなく、どういった場合にこれらの手技を使用するべきかということを考え、実験計画を組み立てることができるようになることが目標である。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
毎回の授業での参加度および実験手技に関するレポート、および最終試験により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5071300037
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
獣医臨床における移植免疫・臓器保存・人工臓器・関節疾患・中枢神経疾患・免疫調整法等を含む臨床免疫学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、獣医臨床における移植免疫、臓器保存、人工臓器、関節疾患、中枢神経疾患、CTやMRIなどの画像診断、免疫調整法等を含む臨床免疫学および臨床外科学における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教受することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床免疫学および臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071300038
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
獣医臨床における移植免疫・臓器保存・人工臓器・関節疾患・中枢神経疾患・免疫調整法等を含む臨床免疫学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、獣医臨床における移植免疫、臓器保存、人工臓器、関節疾患、中枢神経疾患、CTやMRIなどの画像診断、免疫調整法等を含む臨床免疫学および臨床外科学における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教受することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床免疫学および臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071300039
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
分子細胞生物学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を学ぶ。これにより、この領域における問題解決能力を高度化するとともに、今後の研究や臨床面におけるその適応能力を高める。ここでは主としてタンパク質について学ぶ。					
授業の一般目標					
この授業の目的は、分子細胞生物学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を習得する事にある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
積極的な討論への参加が必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071300040
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	利部 聡			区分	
授業の概要					
最新の細胞生理学に関する、実験・技術を教える。					
授業の一般目標					
基本的な手技を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 関連学会で発表された新知見を概説する。					
関心・意欲の観点: 基本的な手技を習得し、さらに工夫を重ねる。					
成績評価方法(総合)					
出席重視					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5071300041
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
獣医腫瘍性疾患に対する診断と治療に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
獣医領域において遭遇する腫瘍性疾患罹患動物に対する実際的な対処法について学ぶ。具体的には、獣医領域における腫瘍性疾患に対する治療戦略、MRI や CT などの最新の画像診断手技、外科手術手技の基礎と応用、放射線治療の計画立案と実践などについて解説・演習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と試験成績による					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071300042
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
獣医腫瘍性疾患に対する診断と治療に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
小動物臨床において効率的な癌の診断と治療を行うために必要な基礎的知識を実験および実習を通じて理解を深めることを目的とする。主に培養細胞を用いておこなう in vitro および in vivo 実験法により腫瘍細胞を用いた基礎的実験法を学び、さらには画像診断手技、腫瘍外科手術手技を実習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と試験成績による					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071300043
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
動物の生殖機能障害の病態を内分泌学的に解明するとともに、ホルモンによる生殖の人為支配技術を開発する					
授業の一般目標					
近年の生殖内分泌学の進歩はめざましく、動物のさまざまな生殖現象のメカニズムが解明されてきている。しかし、その一方で、生産性を重視した遺伝的改良と飼育形態の変化などにより、産業動物、特に乳牛の繁殖成績は世界的に著しく低下しており、この問題の解決が迫られている。本講義においては、主に、牛を対象に、生殖周期の内分泌学的メカニズムと、その知識に基づいて開発されているホルモンによる繁殖の人為支配の理論と実際を解説するとともに、多発する繁殖障害の病態内分泌とそれに対応する新しいホルモン療法の現状と今後の課題などを示し、生殖内分泌学の臨床的応用の可能性を検討する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金3~4	時間割コード	5071300044
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
動物の生殖機能障害の病態を内分泌学的に解明するとともに、ホルモンによる生殖の人為支配技術を開発する					
授業の一般目標					
生殖にかかわるホルモンの合成、分泌およびそれらの調整機構を最新の知識に基づいて理解することなしには、動物の生殖獣医療の進歩は期待できない。本演習においては、主要なホルモンについて、まず、合成、分泌、調節機構および生理作用などを理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5071300045
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
動物の生殖機能障害の病態を内分泌学的に解明するとともに、ホルモンによる生殖の人為支配技術を開発する					
授業の一般目標					
臨床生殖内分泌学の基本は、関連する内分泌器官から分泌されるホルモンの濃度を測定することによって、それらの機能を推定することにある。したがって、血漿、乳汁、尿、糞、あるいは唾液中のホルモン濃度を、適切なタイミングに、適切な間隔で測定することにより、個々の動物における発情、排卵、黄体形成、妊娠などの生殖現象を把握することができる。本実習においては、実用的なホルモン測定法の理論と実際を学ぶ。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5071300046
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	角川 博哉			区分	
授業の概要					
世界各地で飼育されている乳牛などの動物の繁殖では、発情不明瞭や低受胎などの問題が発生している。また日本固有の黒毛和種牛でも、近年、繁殖障害が増加している。さらに新たな動物を増殖したり、繁殖にIT手法なども応用するなどの新たなビジョンも必要である。これらの問題の解決のためには、内分泌、栄養、代謝、神経などの生殖のために動物が有する様々な生理機構の調節と、動物が存在する環境について学ぶ。					
授業の一般目標					
繁殖の諸問題の原因を解明し解決策を開発するため、また新たな人間と動物との関わり合いの世界を実現するための基盤知識を、特に分子・細胞・個体・環境といった様々なレベルで習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 多様で複雑な知識体系の習得と応用するための観点、特に分子・細胞・個体・環境といった様々なレベルでの知識と理解					
思考・判断の観点: 動物の生殖を様々な角度から論理的に思考し、科学的に判断できる視点。					
関心・意欲の観点: 動物の生殖機構の外や中で何が起きているのか、また人間との関わり合いの中でどのように調節するか、に関心と意欲をもつ					
態度の観点: 論理的に、かつ積極的に独自の思考を発展・展開する					
技能・表現の観点: 複雑な体系を、独自の思考で開拓し、その経過と結果を平易に表現する					
成績評価方法(総合)					
試験で成績を評価する。成績には出席を加味する。					
教科書					
参考書					
New Research on neurosecretory systems / Kadokawa H, et.al.: Nova Science Publishers, 2009					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071300047
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学(クローン、体外受精等)に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
近年の生殖工学の急速な進展は、動物が持つ未利用資源の可能性を大きく進展させている。本講義は、人為的なコントロール下での配偶子の様々な変化を解説するとともに、それに伴う基礎的・応用的研究を紹介する。特に本講義では、種々の生殖工学技術における開発過程の概説・理論・問題点について解説し、開発された生殖技術の必要性について共に考える。本講義は、専攻学生に対して最新の生殖工学を学び、臨床へと展開する知識を学び取ると同時に、生殖操作に伴う生命倫理に関する理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5071300048
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学(クローン、体外受精等)に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
生殖工学技術に必須の卵子・精子の基本操作方法を学ぶ。本演習は、ウシ・ブタ・イヌ・ネコの卵子・精子の基本操作を解説・演習する。特に本演習では、それぞれの生殖工学技術における卵子・精子・胚の操作理論と重要なポイントを解説し、配偶子操作過程の理解を深めることを目的とする。また、異なる動物種における卵子・精子の相違性を理解すると共に、その違いが生殖工学技術においてどのように展開されているか演習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071300049
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学(クローン、体外受精等)に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
生殖工学技術に必須の卵子・精子の基本的操作方法を学ぶ。本実験は、ウシ・ブタ・イヌ・ネコの卵子・精子を使って実験する。特に、それぞれの種における卵子・精子・胚の体外培養・受精技術を解説するとともに、これら技術を習得する。最終的には、培養液の調整を含む体外受精技術の全般における技術修得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5071300050
開設科目名	最新の予防獣医学			単位	3単位
対象学生				学年	~
担当教員				区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071400001
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	村上 隆之			区分	
授業の概要					
動物の心臓・血管・リンパ管の正常形態、発生及び発生異常等の肉眼的、光学顕微鏡的、電子顕微鏡的追究についての研究					
授業の一般目標					
脈管系の正常および異常形態					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071400002
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村上 隆之			区分	
授業の概要					
動物の心臓・血管・リンパ管の正常形態、発生及び発生異常等の肉眼的、光学顕微鏡的、電子顕微鏡的追求についての研究					
授業の一般目標					
心大血管奇形の実態を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071400003
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村上 隆之			区分	
授業の概要					
動物の心臓・血管・リンパ管の正常形態、発生及び発生異常等の肉眼的、光学顕微鏡的、電子顕微鏡的追求についての研究					
授業の一般目標					
解剖学に必要な技術の習得。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5071400004
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	那須 哲夫			区分	
授業の概要					
鳥類の脈管系の発生学的比較解剖学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は博士課程の学生が形態学における基礎的な知識を習得することにある。鳥類における血管の詳細な形態、走行を肉眼的、電顕的な面から講義し、哺乳類のそれと比較することにより、大学院学生に血管の発生を理解させようとするものである。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 鳥類の血管系を学ぶことにより、哺乳類血管系の成立の発生学的根拠を理解する。					
成績評価方法(総合)					
中間試験、最終試験および出席日数を規準にして評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071400005
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	那須 哲夫			区分	
授業の概要					
鳥類の脈管系の発生学的比較解剖学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071400006
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	那須 哲夫			区分	
授業の概要					
鳥類の脈管系の発生学的比較解剖学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	5071400007
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	村上 昇			区分	
授業の概要					
哺乳類と鳥類の生体リズム機構、摂食機構、および生殖機構に関する研究					
授業の一般目標					
本授業の目的は大学院生にさらに高度な生殖生理学の知識を教授することにある。生殖学は獣医の基礎科学あるいは臨床分野で大変重要なものであり、それ故、本講義では生殖に対する中枢性、末梢性、環境性あるいは栄養性の制御に関する最新の情報を提供したい。それらの中には遺伝子操作、アポトーシス、DNA のメチル化と発生など興味深いトピックが含まれている。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071400008
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村上 昇			区分	
授業の概要					
哺乳類と鳥類の生体リズム機構、摂食機構、および生殖機構に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071400009
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村上 昇			区分	
授業の概要					
哺乳類と鳥類の生体リズム機構、摂食機構、および生殖機構に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071400010
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中原 桂子			区分	
授業の概要					
生体時計機構および摂食機構の分子生物学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071400011
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中原 桂子			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5~6	時間割コード	5071400012
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中原 桂子			区分	
授業の概要					
哺乳類と鳥類の生体リズム機構、摂食機構、および生殖機構に関する研究					
授業の一般目標					
種々の実験を通して生殖機構の理解を高めることを目的としている。前期は主に、排卵や性行動を制御する神経機構を理解するための実験を行う。また、ステロイドホルモンによる中枢の性の決定や生体リズムと排卵がどのように関係しているのかを実験を通して確かめる。加えて、基礎研究技術としてホルモンの測定法を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	5071400013
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 勝昭			区分	
授業の概要					
薬物をはじめとする生理活性物質の細胞レベル、すなわち細胞膜や細胞内小器官への作用機序の解明についての研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は学生が博士論文研究を行うのに必要な基本的な専門知識を習得することにある。そのために生体のホメオスタシスおよびその破綻である病気のメカニズムに関わる生体内分子の機能を概説し、ホメオスタシスを回復させる薬物の作用の細胞レベルおよび分子レベルでの作用メカニズムを講義する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 学生が博士論文研究を行うのに必要な基本的な専門知識を習得すること。					
思考・判断の観点: 主観に傾かず、客観的かつ広い視野から物事を見ることができ、論理的に組み立てられた思考法を学ぶこと。					
関心・意欲の観点: 自分の専門分野だけでなく、幅広く生物学全般に及ぶことに興味を持ち、自分の研究が社会にとってどうい貢献ができるかを常に考えていること。					
態度の観点: 自分の専門分野だけでなく、幅広く生物学全般に及ぶことに興味を持ち、自分の研究が社会にとってどうい貢献ができるかを常に考えていること。					
技能・表現の観点: 必要な文献を検索でき、速読し、ポイントを把握できること。文献の内容と自分の研究内容を照らし合わせ、自分の方法論、考察していることが正しいか検証できること。					
成績評価方法(総合)					
日常的な勉学態度や、研究を自分の重要なワークとしてとらえ、積極的に調査し、知識を吸収しているかどうかの態度で判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071400014
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 勝昭			区分	
授業の概要					
薬物をはじめとする生理活性物質の細胞レベル、すなわち細胞膜や細胞内小器官への作用機序の解明についての研究					
授業の一般目標					
学生が自分の研究テーマに関連する研究論文を理解・批判する能力を主にセミナー形式でディベートを通じて涵養し、かつ学生の研究成果を英語論文で表現する能力を個人指導によって向上させる。また科学的思考法をマスターすることも含まれる。前期は読解能力およびプレゼンテーション能力の向上に中心をおく。					
授業の到達目標					
態度の観点: 冷静に、客観的視点を外さず、ディベートできること。実験が終了するとすぐにデータ整理をし、自分なりに解析した上で、指導教員とディスカッションすること。					
技能・表現の観点: PubMed などを利用した論文調査の技術、Endnote などを用いた文献データベースの作成、統計ソフトを用いたデータの統計処理、グラフによる表現技術、PowerPoint を用いたプレゼンテーション技術、学科でのポスター発表、口演の技術、以上を習得すること。					
成績評価方法(総合)					
本演習を通じて、研究に必要な技法がどの程度上達したかを評価の基準とする。自ら各種技法の習得に努めたかどうかの評価の重要な観点である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5071400015
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 勝昭			区分	
授業の概要					
薬物をはじめとする生理活性物質の細胞レベル、すなわち細胞膜や細胞内小器官への作用機序の解明についての研究					
授業の一般目標					
<p>アケアポリン分子(以下 AQP と略す)は、動物界から植物界に渡る様々な生物に見られる膜タンパク質分子である。現在までに AQP0 ~ AQP12 の 13 種類の分子種が哺乳動物においては同定されている。ほとんどの細胞において AQP 分子は細胞膜に発現していて、細胞内外の水輸送を調節している。また、浮腫やある種の腎疾患など、水分の異常な動きを伴う疾患において AQP 分子種が重大な役割を果たしていることも明らかになってきている。従って、AQP 分子はそれらの疾患の治療薬を開発する上で、魅力的な標的分子である。本コースでは、生体が恒常性を維持するために如何に水分子を利用しているか、そしてその破綻がどのようにして疾患を引き起こすのかを理解するために、分子生物学的手法を用いて AQP 分子を研究する。この実験を通して、問題を提起すること、そして解決することなどの能力を学生に身に付けさせたい。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071400016
開設科目名	基礎獣医学特講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	池田 正浩			区分	
授業の概要					
伝性疾患を分子レベルで理解することを通して、振り返って生体の機能を分子レベルで理解する。					
授業の一般目標					
この授業の目的は、学生が博士論文研究を行うのに必要な基本的な専門知識を習得することにある。そのために分子レベルでメカニズムが明らかとなっている疾患、特に遺伝性疾患を例にとり、病気の成り立ちを分子の言葉で講義し、振り返って生体内分子の機能とホメオスタシスとの関係、そしてその破綻が起す疾患の分子メカニズムの理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071400017
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	池田 正浩			区分	
授業の概要					
科学論文を読み、それを紹介することによって、科学論文を正しく理解する能力を向上させるとともに批判する能力を身につける。					
授業の一般目標					
学生が自分の研究テーマに関連する研究論文を理解・批判する能力を主にセミナー形式でディベートを通じて涵養し、かつ学生の研究成果を英語論文で表現する能力を個人指導によって向上させる。また科学的思考法をマスターすることも含まれる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5071400018
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	池田 正浩			区分	
授業の概要					
アクアポリン分子を題材に、分子生物学的実験技術を身につける。					
授業の一般目標					
<p>アクアポリン分子(以下 AQP と略す)は、動物界から植物界に渡る様々な生物に見られる膜タンパク質分子である。現在までに AQP0 ~ AQP12 の 13 種類の分子種が哺乳動物においては同定されている。ほとんどの細胞において AQP 分子は細胞膜に発現していて、細胞内外の水輸送を調節している。また、浮腫やある種の腎疾患など、水分の異常な動きを伴う疾患において AQP 分子種が重大な役割を果たしていることも明らかになってきている。従って、AQP 分子はそれらの疾患の治療薬を開発する上で、魅力的な標的分子である。本コースでは、生体が恒常性を維持するために如何に水分子を利用しているか、そしてその破綻がどのようにして疾患を引き起こすのかを理解するために、分子生物学的手法を用いて AQP 分子を研究する。この実験を通して、問題を提起すること、そして解決することなどの能力を学生に身に付けさせたい。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5071400019
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	後藤 義孝			区分	
授業の概要					
感染症の制御を目指した感染性病原体ならびに宿主の分子生物学的・免疫学的研究					
授業の一般目標					
この講義は大学院学生に感染症におけるさまざまな病態を深く理解させるとともに感染症のさまざまな分野における科学的諸問題を解決するための能力を開発することを目的とする。ここでは抗酸菌を素材として取り上げ、動物宿主にみられる自然抵抗性ならびに獲得抵抗性の機序に焦点をあて、いまや必須となった分子遺伝学的手法をはじめ最新技術によって解明された感染防御に関わる分子機構について最新の知見を紹介する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071400020
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	後藤 義孝			区分	
授業の概要					
感染症の制御を目指した感染性病原体ならびに宿主の分子生物学的・免疫学的研究					
授業の一般目標					
このコースは感染病態学分野の科学論文を読みこなす能力と、学生自らが論文を書くために必要な能力を基本的なトレーニングの場を提供する。ここでは学生自身が進めている研究も取り上げ、原著をもとに関係教員とディスカッションを行う。前期は細菌やウイルスベクター、組換え DNA、感染症に関するサイトカインなどが中心となる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071400021
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	後藤 義孝			区分	
授業の概要					
感染症の制御を目指した感染性病原体ならびに宿主の分子生物学的・免疫学的研究					
授業の一般目標					
このコースは感染病態学に関連し日常的に用いられる手法について基礎知識と技術を提供する。実験手順に基づきそれらの原理についても学ぶ。前期は細菌培養法や動物細胞培養法、ウイルスの増殖法とそれらの定量法、免疫ではELISA法や中和反応、分子遺伝学的手法としてPCR法やRT-PCR法を取りあげる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071400022
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	芳賀 猛			区分	
授業の概要					
感染症の制御に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
近年、新興再興感染症や人獣共通感染症を初め、感染症に対する社会的関心が高まり、その制御のための対策が急がれている。この講義では大学院学生に感染症の発病機序や制御に関する研究を解説・紹介し、当該分野の科学的諸問題を解決するための能力を開発することを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071400023
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	芳賀 猛			区分	
授業の概要					
感染症の制御に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この演習では大学院学生に感染症の発病機序や制御に関する研究手法を解説・紹介し、当該分野の科学的諸問題を解決し、応用するための能力を開発することを目的とする。研究手法の原理を理解した上で、その応用について演習を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5071400024
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	芳賀 猛			区分	
授業の概要					
感染症の制御に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
本実験では大学院学生に感染症の発病機序や制御に関する基本的研究手法を解説すると共に、これらの技術を習得する。当該分野の科学的諸問題を解決し、応用するための能力を開発することを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071400025
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 良二			区分	
授業の概要					
動物の感染症について生体側の反応因子と病原体側の病原性因子についての研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は大学院生に対して感染病理学について理解してもらうために動物感染症を総合的に教授する。感染症の原因になる多くの病原体があり、感染によって発症するために微生物側の毒力と宿主の免疫機構などのかかわりが重要である。最近の研究技術の進歩により、病理学も形態だけでなく、組織培養、分子生物学や免疫組織学的その他技術の導入も重要になってきた。これらの技術の紹介とともに、病理学の総論、感染症の成立、発症機序、生体防御、さらに、現在の話題となっている感染症について、病原体、診断法や病理学的所見について講述していく。これらの技術は小動物、産業動物、実験動物等に携わる研究者、獣医師の感染性疾患に対して考察することの礎となる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071400026
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 良二			区分	
授業の概要					
動物の感染症について生体側の反応因子と病原体側の病原性因子についての研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071400027
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 良二			区分	
授業の概要					
動物の感染症について生体側の反応因子と病原体側の病原性因子についての研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071400028
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	永友 寛司			区分	
授業の概要					
産業動物に多発する感染性疾患の病原体検索、早期診断法の開発、感染予防法の確立についての研究					
授業の一般目標					
産業動物に多発する感染性疾患の病原体検索、早期診断法の開発、感染予防法の確立についての研究					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	5071400029
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	永友 寛司			区分	
授業の概要					
動物疾病の診断、治療、予防に関する研究					
授業の一般目標					
この演習では、牛、豚、鶏の感染症予防方法に関する現状について、最新の文献を大学院生とともに紹介・発表し合い、感染症予防方法について共に議論し考察する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5071400030
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	永友 寛司			区分	
授業の概要					
産業動物に多発する感染性疾患の病原体検索、早期診断法の開発、感染予防法の確立についての研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、牛、豚、鶏の感染症予防方法に関する実験指導を実施する。病原体(マイコプラズマ、病原大腸菌、その他の細菌)の検査材料からの分離同定方法についての実験操作方法、薬剤・消毒剤に対する分離病原体の感受性試験方法などの実験を行い、大学院生と議論・考察を共に行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5071400031
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	末吉 益雄			区分	
授業の概要					
動物疾病の診断、治療、予防に関する研究 この講義では、(1)動物と環境、(2)動物の感染症(ウイルス、細菌、真菌、寄生虫)、(3)動物の管理衛生などについて講義する。					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071400032
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	末吉 益雄			区分	
授業の概要					
この演習では、牛、豚、鶏の感染症予防方法に関する現状について考察する。					
授業の一般目標					
牛、豚、鶏の感染症予防方法に関する現状について、最新の文献を大学院生とともに紹介・発表し合い、感染症予防方法について共に議論し考察する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5071400033
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	末吉 益雄			区分	
授業の概要					
この実験では、牛、豚、鶏の感染症予防方法に関して議論・考察を共に行う。					
授業の一般目標					
この実験の目的は、牛、豚、鶏の感染症予防方法に関する実験指導を実施する。病原体(マイコプラズマ、病原大腸菌、その他の細菌)の検査材料からの分離同定方法についての実験操作方法、薬剤・消毒剤に対する分離病原体の感受性試験方法などの実験を行い、大学院生と議論・考察を共に行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5071400034
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	三澤 尚明			区分	
授業の概要					
人獣共通感染症学に関する最新の知見と研究について概説する					
授業の一般目標					
宮崎大学で動き出している「人獣共通感染症モデル・カリキュラム開発事業」と連動し、人獣共通感染症の早期診断、治療、防疫、制御などの指導ができる獣医師の養成を目指す					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5071400035
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	三澤 尚明			区分	
授業の概要					
病原微生物をゲノムレベルで理解し、発症機序や診断・治療・予防法に応用するための技術を習得する					
授業の一般目標					
病原体のゲノム情報の活用法について習得する					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071400036
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	三澤 尚明			区分	
授業の概要					
人獣共通感染症の早期診断やより高度な診断法など習得する					
授業の一般目標					
病原微生物を安全に扱うことができる手技と野外から採取した検体からの病原微生物の分離・診断を行うための基礎的な実験手技を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5071400037
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	堀井 洋一郎			区分	
授業の概要					
動物の寄生虫免疫学、消化管粘膜免疫学に関する臨床及び基礎的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は宿主と寄生虫の相互関係を理解し、寄生虫感染が直接あるいは間接的に宿主動物に引き起こす病害の発生機構を理解し、制御することにある。世界的に見ると家畜や伴侶動物の寄生虫関連の疾患は多く、またその一部は人獣共通感染症としても重要である。本授業は専攻学生に対して最新の知識と、これらを駆使して寄生虫関連疾患の本質へのアプローチの方法や能力を身につけるためのものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5071400038
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	堀井 洋一郎			区分	
授業の概要					
動物の寄生虫免疫学、消化管粘膜免疫学に関する臨床及び基礎的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は実験動物と寄生虫を用いたモデルでの寄生虫病の解析技術の理解や、実際の寄生虫疾患をいかに正しく実験室レベルで解析可能なモデルシステムを構築するかを習得することにある。家畜の寄生虫疾患は世界的な規模で存在し、その多くの対策は未解決なままである。一方、大家畜を使用した感染実験には場所や費用の点で制約が多く、これらが寄生虫疾患の解析を遅らせている。この授業では、実験動物の免疫や生理学的特性を正しく理解させ、本来の宿主動物での免疫応答のモデル解析をおこなうための実験の応用範囲と限界を知ることにより、実用的なモデルシステムを作成する能力を養う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5071400039
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	堀井 洋一郎			区分	
授業の概要					
この授業の目的は寄生虫実験感染や野外での感染例を対象に、大学院生に寄生虫感染症の免疫学的解析法の実際の技術や評価の仕方を提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、トライ・アンド・エラーを繰り返しながら、講義や演習のみでは伝え切れない、微妙なノウハウを体得してもらうことがあげられる。実験の場合、成功するだけでなく、失敗にこそ多くの可能性が含まれていることを、失敗の原因を正確に解析し、改善点を明確にするまで指導することにより理解させる。科学的実験の目的と結果の評価が正しくできる能力を育む。					
授業の一般目標					
動物の寄生虫免疫学、消化管粘膜免疫学に関する臨床及び基礎的研究					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5071400040
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	方本 宏			区分	
授業の概要					
動物の臨床栄養学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
近年、産業動物における集約的飼養管理は新たな代謝性疾患の多発を招き、環境や栄養的ストレスは易感染性を生じる原因ともなっている。本講義は、和牛の脂肪壊死症、乳牛の脂肪肝の発生機序を解説するとともに、治療・予防法に関する研究を紹介する。さらに、免疫機能に関連する微量栄養素(ビタミン・ミネラル)の応用的研究を紹介する。本講義は、専攻学生に対して最新の臨床栄養学を学び、臨床における代謝性疾患の診断・治療・予防法に関する理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5071400041
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	方本 宏			区分	
授業の概要					
動物の臨床栄養学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
臨床栄養学の診断・評価に必須の基本的実験法を学ぶ。本演習は、動物の栄養状態や免疫機能を評価する基本的技術について解説・演習する。特に本演習では、脂質代謝障害の診断、その治療後の評価、ビタミン栄養の評価、液性および細胞性免疫機能の評価法について理解を深めることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071400042
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	方本 宏			区分	
授業の概要					
動物の臨床栄養学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
臨床栄養学の診断・評価に必須の基本的実験法を学ぶ。本実験は、イヌ、ウシおよびそれらの血液を用いて栄養状態や免疫機能を評価する技術を解説するとともに、これらの技術を習得する。最終的には、臨床栄養学実験の全般における技術習得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5071400043
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	上村 俊一			区分	
授業の概要					
動物の繁殖生理に関する臨床内分泌学的研究および生殖機能障害の病態解明と治療法の開発					
授業の一般目標					
この授業の目的は動物の繁殖生理に関する臨床内分泌学的研究及び生殖器の障害の病態解明と治療法の開発を教授する。本授業は専攻学生に対して最新の獣医臨床繁殖学を学び必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5071400044
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	上村 俊一			区分	
授業の概要					
動物の繁殖生理に関する臨床内分泌学的研究および生殖機能障害の病態解明と治療法の開発					
授業の一般目標					
この演習の目的は、科学論文の読解や、研究発表、会議での討論、学術論文の作成を遂行する能力を向上するためである。さらに、大学院生はこれらの演習を実践することにより、科学的思考法を訓練する。本演習では、学術論文の読解力と発表能力の向上を主題とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5071400045
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	上村 俊一			区分	
授業の概要					
動物の繁殖生理に関する臨床内分泌学的研究および生殖機能障害の病態解明と治療法の開発					
授業の一般目標					
この実験の目的は、大学院生に新しい獣医繁殖学の概念について、紹介するものである。二つの大きな主題に分かれ、繁殖システムの構成と繁殖過程の制御、特に排卵から分娩誘起までを教授する。 臨床繁殖学における近年の最新技術について、特にバイオテクノロジー分野における性腺刺激ホルモン放出ホルモンやプロゲステロン製剤の利用、繁殖分野における超音波診断技術を実践する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5072100001
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松元 光春			区分	
授業の概要					
動物の血管作動物質の機能形態学的研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は動物形態学、特に腺組織および腎臓の構造について、最近報告された文献をもとに、比較形態学、機能形態学、あるいは予防法などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072100002
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	松元 光春			区分	
授業の概要					
動物の血管作動物質の機能形態学的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の比較解剖学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定して、実験方法を組立て、必要な材料を収集、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5072100003
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡 達三			区分	
授業の概要					
高等動物における細胞内代謝が生理活性物質や栄養素によって制御される機構を分子レベルで解明する研究					
授業の一般目標					
この講義の目的は、「分子生理学」を深く学ぼうとする学生に高等動物の細胞内代謝、発生・分化の分子制御ならびに遺伝子発現の栄養制御に関する最新の情報を教授することである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5072100004
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡 達三			区分	
授業の概要					
高等動物における細胞内代謝が生理活性物質や栄養素によって制御される機構を分子レベルで解明する研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は高等動物の細胞内代謝や遺伝子発現の栄養制御について、最近報告された文献をもとに、細胞内代謝の分子機構あるいはビタミンの分子栄養学などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072100005
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡 達三			区分	
授業の概要					
高等動物における細胞内代謝が生理活性物質や栄養素によって制御される機構を分子レベルで解明する研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5072100006
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮本 篤			区分	
授業の概要					
薬物の作用機序に関する比較薬理学的研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は「獣医薬理学」の中でも、内因性活性物質の受容体と情報伝達に関連する最新の文献を通して、論理的に考え、議論できるようになることである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072100007
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	宮本 篤			区分	
授業の概要					
薬物の作用機序に関する比較薬理学的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立、必要な材料をフィールドから収集、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5072100008
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	高瀬 公三			区分	
授業の概要					
家畜・家禽、野生動物が保有するウイルス、細菌の病原学的意義、およびその免疫に関する研究					
授業の一般目標					
この講義の目的は、「獣医伝染病学」を深く学ぼうとする学生に動物の感染症、特に鳥の疾病を取り上げながら、その病原体の分離、培養、同定、型別、遺伝子解析および予防対策に関する最新の情報を教授することである。中でも呼吸器および腸管に感染するウイルスを中心に取り上げ、またワクチンについても触れる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	5072100009
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	高瀬 公三			区分	
授業の概要					
家畜・家禽、野生動物が保有するウイルス、細菌の病原学的意義、およびその免疫に関する研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は動物感染症、特に鳥の病気について、最近報告された文献をもとに、病原体の性状、診断技術、あるいは予防法などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5072100010
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	高瀬 公三			区分	
授業の概要					
家畜・家禽、野生動物が保有するウイルス、細菌の病原学的意義、およびその免疫に関する研					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立、必要な材料をフィールドから収集、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5072100011
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤崎 幸蔵			区分	
授業の概要					
マダニによる Babesia 原虫の媒介機構に関する分子基盤解明のための分子疫学的研究					
授業の一般目標					
節足動物による原虫媒介機構の研究を遂行するために必要な基礎的・基盤的な技法を学ぶ。本演習では、マダニと Babesia 原虫のハンドリングに関する基本操作を解説・演習する。とくに蚊などの一般的吸血性節足動物とは大いに様相を異にするマダニの吸血・消化の特異性を理解することによって、Babesia 原虫媒介機構の他との相違性についても理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072100012
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤崎 幸蔵			区分	
授業の概要					
マダニによる Babesia 原虫の媒介機構に関する分子基盤解明のための分子疫学的研究					
授業の一般目標					
Babesia などの人獣の衛生に大きな関わりをもつ原虫に対するマダニなどの吸血性節足動物による媒介機構について、とくに分子基盤を解明するために必要となる基本的な技術全般における習得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5072100013
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中馬 猛久			区分	
授業の概要					
獣医公衆衛生に関わる病原体の予防と制御に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5072100014
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	安田 宣紘			区分	
授業の概要					
野生動物における各種疾病の本質を形態学的および機能的面から究明し、比較を行う分野の研究					
授業の一般目標					
最近報告された文献をもとに、最新の病理学的検査法、免疫組織学的検査法、診断技術、診断法などについて紹介する。さらにそれらの診断技術の応用を指導する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072100015
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	安田 宣紘			区分	
授業の概要					
野生動物における各種疾病の本質を形態学的および機能的面から究明し、比較を行う分野の研究					
授業の一般目標					
学生の獣医学に関する研究能力(計画立案, 準備, 実験操作, 観察, 結果の組立, まとめ, 発表など)を, ある特定の実験テーマを設定しながら実験方法を組立, 必要な材料をフィールドから収集, 実験し, 得られたデータを解析, 考察することにより高める.					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5072100016
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 嘉六			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
この演習は、討論を進めながら行う講義である。食品媒介性疾患の疫学パターンの研究と評価に必要な技法を、問題の大きさの査定、発生調査、ならびに、リスク査定とリスク・コミュニケーションを含めて学習することを中心とする。食品媒介性疾患の理解と制御に必要な一般原則と方法論を習得することに重点を置く。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072100017
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 嘉六			区分	
授業の概要					
予防衛生学					
授業の一般目標					
この特別実験においては、細菌検査に用いられる DNA を標的とした手法の習得を通して、研究能力(計画立案、準備、実験操作、結果の解析、まとめ、発表など)の向上を図ることを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	5072100018
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	遠藤 泰之			区分	
授業の概要					
小動物臨床におけるウイルス性ならびに原虫性疾患の診断と治療に関する研究					
授業の一般目標					
小動物臨床の現場においては様々な感染性疾患に遭遇するが、中にはまだ具体的な診断法や治療法が確立されていない疾患も多く存在する。そこで本講義ではその中でも猫のウイルス性疾患と犬の原虫性疾患に焦点を当て、これらに対する新たな診断法や治療法の可能性や臨床応用に関する実現性について解説する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5072100019
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	遠藤 泰之			区分	
授業の概要					
小動物の感染症における病態と治療に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072100020
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	遠藤 泰之			区分	
授業の概要					
小動物の感染症における病態と治療に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5072100021
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	出口 栄三郎			区分	
授業の概要					
獣医臨床分野における内科疾患やストレスと神経系・内分泌系・免疫系の相互作用を解明し疾病予防法について研究する					
授業の一般目標					
この演習の目的は産業動物のうち特に豚の生産獣医療システムについて、最近報告された文献をもとに、集団における飼養管理方法、病原体の性状、診断技術、予防法などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072100022
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	出口 栄三郎			区分	
授業の概要					
獣医臨床分野における内科疾患やストレスと神経系・内分泌系・免疫系の相互作用を解明し疾病予防法について研究する					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立、必要な材料をフィールドから収集、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	5072100023
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	高木 光博			区分	
授業の概要					
産業動物を対象として、生産性を阻害する主要な疾患の病態解明とその予防法の開発					
授業の一般目標					
この演習の目的は産業動物獣医学、特に肉用牛と乳用牛の生産獣医療システムについて、最近報告された文献をもとに、病原体の性状、診断技術、あるいは予防法などについて紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072100024
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	高木 光博			区分	
授業の概要					
業動物を対象として、生産性を阻害する主要な疾患の病態解明とその予防法の開発					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を、ある特定の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立、必要な材料をフィールドから収集、実験し、得られたデータを解析、考察することにより、高めることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	5072100025
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	大和 修			区分	
授業の概要					
家畜臨床生化学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は、動物の疾患について、最近報告された文献情報をもとに、その臨床生化学的ならびに臨床病理学的診断技術について紹介する。さらにその情報などについて、議論を深めることで、思考能力および問題解決能力を高める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072100026
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	大和 修			区分	
授業の概要					
家畜臨床生化学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、学生の獣医学に関する研究能力(計画立案、準備、実験操作、観察、結果の組立、まとめ、発表など)を高めるために、家畜臨床生化学分野の実験テーマを設定しながら、実験方法を組立て、必要な材料を収集し、実験し、得られたデータを解析、考察する。これにより科学者としての資質を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5072100027
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	桃井 康行			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072100028
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	桃井 康行			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5072100029
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	矢吹 映			区分	
授業の概要					
動物疾患の病態と診断に関する組織学的および細胞学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072100030
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	矢吹 映			区分	
授業の概要					
動物疾患の病態と診断に関する組織学的および細胞学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5072100031
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	三角 一浩			区分	
授業の概要					
動物の外科疾患の病態を基礎および臨床獣医学的手法を用いて究明することによって、科学的根拠に基づく獣医外科診断・治療法の開発に役立てる					
授業の一般目標					
この授業の目的は動物の軟部および硬部外科分野における最新の獣医学情報を大学院生に教授し、自らが研究を進めていく上で必要となる外科的知識を 発展させ、問題解決能力を高めることにある。将来動物臨床医を目指す、既に動物の診療に従事する、あるいは医学・獣医学・生物学関連企業に勤務する大 大学院生の興味を引き、臨床獣医学的研究を始める動機付けとなり、かつ臨床獣医学の進歩に貢献できる研究テーマを見出す機会となる話題を提供する。創 傷治癒の分子メカニズムや、各器官の外科的トピック(特に骨軟骨疾患)を取り上げて解説していく。症例データ、臨床への実用化に向けた治験データや基礎 研究データを紹介・解説することで、研究の着眼点や実験方法に関するヒントを与える。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5072100032
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	三角 一浩			区分	
授業の概要					
動物の外科疾患の病態を基礎および臨床獣医学的手法を用いて究明することによって、科学的根拠に基づく獣医外科診断・治療法の開発に役立てる					
授業の一般目標					
この演習の目的は動物の内視鏡検査および鏡視下手術、特に整形外科にて有用な関節鏡検査法を大学院生に実習させ、整形外科医としての診断・治療技術の向上に役立てる。X線、MRI、超音波検査にない関節軟骨や軟部組織に関する画像情報や、外科的侵襲の少ない鏡視下手術法を関節外科分野における研究の一手法として適用できるようにする。獣医医療ではまだなじみの少ない、硬性鏡の取り扱い方、操作、および手術法を実習するとともに、関節内構造物の内視鏡所見の評価法について解説する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072100033
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	三角 一浩			区分	
授業の概要					
動物の外科疾患の病態を基礎および臨床獣医学的手法を用いて究明することによって、科学的根拠に基づく獣医外科診断・治療法の開発に役立てる					
授業の一般目標					
動物の関節疾患の分子病態を理解し、病状や予後を反映する分子マーカーを見出すことを目的とする。専攻学生に対して、骨軟骨・滑膜の細胞外基質代謝に関する具体的な研究テーマを与え、実験計画立案、準備、実験操作、評価、結果の組立、まとめ、発表および論文作成という基本的な研究の流れを指導し、研究課題を解決させる。得られた研究成果に基づき、学生自らが新しい仮説をもち、それを実証するための独創的な研究立案と実験へと発展させ、新発見を得ることが望ましい。動物の関節症病態評価のために有益な新しい学説と診断法開発へとつなげることによって、臨床獣医学的研究の面白さを教授する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5072100034
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	窪田 力			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072100035
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	窪田 力			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5072200001
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	上原 正人			区分	
授業の概要					
神経系に関する発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072200002
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	上原 正人			区分	
授業の概要					
神経系に関する発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5072200003
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	今川 智敬			区分	
授業の概要					
家畜・家禽を含む脊椎動物の発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072200004
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	今川 智敬			区分	
授業の概要					
家畜・家禽を含む脊椎動物の発生学的、形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5072200005
開設科目名	基礎獣医学特例演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	太田 康彦			区分	
授業の概要					
実験動物における器官形成及び腫瘍発生機構に関する実験形態学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072200006
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	太田 康彦			区分	
授業の概要					
実験動物における器官形成及び腫瘍発生機構に関する実験形態学的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、実験動物の取り扱い、管理についての基本的事項ならびに実験動物を用いた研究方法、手技、実験計画法を大学院生に提供することであり、この領域における問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。さらに、この実験の目的として、実験動物を用いた研究をを目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、医学、獣医学領域の新しい機材、薬剤の開発にともなう動物実験を実施している企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072200007
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	渋谷 泉			区分	
授業の概要					
神経細胞、神経内分泌細胞、内分泌細胞の機能調節機構に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072200008
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	澁谷 泉			区分	
授業の概要					
神経細胞、神経内分泌細胞、内分泌細胞の機能調節機構に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5072200009
開設科目名	基礎獣医学特設実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山野 好章			区分	
授業の概要					
内分泌攪乱物質が哺乳類の精子形成機構に与える影響					
授業の一般目標					
この授業の目的は分子生物学、遺伝子工学技術を用いて特に動物の生殖系に発現する遺伝子の分析、内分泌攪乱物質がこれらの遺伝子の発現にどのような影響を与えるかを分析するための基本的な実験、研究技術を大学院生に提供することであり、この領域における問題解決能力を学生に与え、高度化することにある。この授業は獣医学基礎研究者をはじめ、動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、既に企業に就職している学生を対象とし、最新の研究技術、知識を教授する。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、得られた結果から論理的な分析をするための能力が求められている。本授業を受講することにより最新の分子生物学分析法と問題解決能力を学び取ることができる					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072200010
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山野 好章			区分	
授業の概要					
内分泌攪乱物質が哺乳類の精子形成機構に与える影響					
授業の一般目標					
この授業の目的は動物の生殖系分化に関わる遺伝子分析と内分泌攪乱物質がこれらの遺伝子の発現に対してどのような影響を与えているかを解析した最新の英文文献情報を調査、精読し、現在行っている研究における問題解決能力を大学院生に与えることにある。この授業を受講することにより、基礎獣医学研究者をはじめ、特に生殖系、内分泌を専門とする臨床医を目指す学生、あるいは企業において既にその業務にある学生に対しても最新の知識と問題解決能力を教授することができる。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、生殖系を専門とする学生はもとよりそれ以外の学生に対しても本授業を受講することにより、最新の生化学、分子生物学を学び取る機会を与えることになる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5072200011
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村瀬 敏之			区分	
授業の概要					
細菌学、とくに分子遺伝学、薬剤耐性、食品衛生に関する最新の論文を教材に検討する。細菌感染症の疫学の観点から、同一菌種を細分子菌株を識別することが要求され、分子遺伝学的方法が急速に発達した。薬剤耐性に関しては新しい耐性機構と耐性伝達機構等が問題となっている。また、物流の発達にともなう食品媒介性感染症の同時多発的な発生の報告が増加している。このような情報に触れ、細菌に関する今日的課題への対処について考察する。					
授業の一般目標					
科学論文に特有の英語表現に慣れ、記述された実験内容を理解する。著者が、どのような目的で実験を行い、その結果何が明らかになったのか、どのような課題が残ったのか、今後何を明らかにすべきであるのか、を理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072200012
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村瀬 敏之			区分	
授業の概要					
この授業では、臨床材料や環境材料から目的とする菌を分離、菌種を同定し、さまざまな細菌学的性状を精査するために必要な知識の習得を目的とする。微生物学実験を行なう上での基本的な留意事項を体得した上で、細菌の染色法、生化学的性状の検査法、菌株の識別にかかわる種々の型別法を実習する。また、薬剤感受性試験、遺伝子検出のためのPCR法、遺伝子伝達機構に関する理解を深める。					
授業の一般目標					
微生物学実験の特徴、すなわち、感染の危険とその防除を理解する。分子生物学実験の正確な手技を理解する。実験計画の立案を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5072200013
開設科目名	病態・予防・疫学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	實方 剛			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5072200014
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 宗裕			区分	
授業の概要					
人獣共通寄生虫の分子進化・生物多様性とそれらによる寄生虫症の診断・予防・制圧					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	5072200015
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	岡本 宗裕			区分	
授業の概要					
人獣共通寄生虫の分子進化・生物多様性とそれらによる寄生虫症の診断・予防・制圧					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072200016
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 宗裕			区分	
授業の概要					
人獣共通寄生虫の分子進化・生物多様性とそれらによる寄生虫症の診断・予防・制圧					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5072200017
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	島田 章則			区分	
授業の概要					
大気中の浮遊粒子状物質の呼吸器毒性についての病理学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072200018
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	島田 章則			区分	
授業の概要					
大気中の浮遊粒子状物質の呼吸器毒性についての病理学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072200019
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	森田 剛仁			区分	
授業の概要					
動物の様々な神経疾患に関する病理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、動物の様々な神経系疾患の症例の Computed tomographic (CT) scanning 画像および Magnetic resonance images (MRI) 画像の観察、肉眼解剖、特殊染色、免疫染色および電子顕微鏡による標本観察を通じ、神経系疾患の理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072200020
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	森田 剛仁			区分	
授業の概要					
動物の様々な神経疾患に関する病理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、動物の中枢神経系疾患のうち、蓄積症、栄養障害および中毒症、発生障害、さらには脊髄、末梢神経および眼球の疾患の標本観察を通じて、その病態の理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5072200021
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 壽啓			区分	
授業の概要					
人獣共通感染症病原体の生態、遺伝子進化、宿主域制限因子及び病原性決定因子の究明並びにその予防・制圧に関する研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は様々な人獣共通感染症に対する監視体制(サーベイランスとモニタリング)、診断技術、予防および発生時の防遏体制、情報管理体制などについて、実際の手技手法を実習形式で学びながら危機管理のための総合的な知識および技術を習得することである。対象となる感染症には今後国内への侵入および流行が懸念される新興感染症を含んでいる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072200022
開設科目名	病態・予防鑑別医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	伊藤 啓史			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5072200023
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 剛士			区分	
授業の概要					
鳥類感染症における病態発現の分子機構と分子疫学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
鳥類は、病原微生物の宿主および媒介動物として重要な役割を果たしている。本講義では鳥類を宿主とする病原微生物、特にウイルス感染症について、その病態発現の分子機構と分子疫学的解析による病原微生物媒介動物としての鳥類の役割を紹介するとともに、未解明の問題を共に考える。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072200024
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 剛士			区分	
授業の概要					
鳥類感染症における病態発現の分子機構と分子疫学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
鳥類は、病原微生物の宿主および媒介動物として重要な役割を果たしている。本演習では、鳥類に病原性を示す病原微生物、特にウイルス感染症について、その病態発現の分子機構と分子疫学的解析による病原微生物媒介動物としての鳥類の果たす役割解明について、その背景となる理論と実際について演習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072200025
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 剛士			区分	
授業の概要					
鳥類感染症における病態発現の分子機構と分子疫学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
鳥類は、病原微生物の宿主および媒介動物として重要な役割を果たしている。本実験では、鳥類に病原性を示す病原微生物、特にウイルス感染症について、その病態発現の分子機構と分子疫学的解析による病原微生物媒介動物としての鳥類の果たす役割解明について、その背景となる理論を解説し、基本的技術を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	5072200026
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	日笠 喜朗			区分	
授業の概要					
動物の内科的疾患の病態生理生化学並びに診断と治療法に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
本授業の目的は、小動物内科における最新の診断と治療技術を臨床獣医学分野での活躍を志す大学院生に教授し、この分野における高度な技術力を身につけさせるとともに、将来、内科分野におけるリーダーとして活躍できるような人材を育成することである。この目的に対して、生活習慣病、老年病、循環器病における診断法と治療法に関する演習を行なう。特に、特定難病や遺伝性疾患である心筋症、肥満の血液検査法、生化学的検査法、遺伝子診断法、超音波珍談去、ラジオイムノアッセイの演習を行う。また、内科診断と治療薬としての 2-アドレナリン受容体作用薬のラジオレセプターアッセイを実施する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072200027
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	日笠 喜朗			区分	
授業の概要					
動物の内科的疾患の病態生理生化学並びに診断と治療法に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
本授業の目的は、小動物内科における最新の診断と治療に係わる実験を臨床獣医学分野での活躍を志す大学院生に教授し、この分野における研究者としての人材を育成することである。この目的に対して、動物の内科的疾患の診断法と治療法に関する基礎および臨床学的事項についての実験を行なう。特に、生活習慣病、老年病、循環器病の最新情報、特定難病や遺伝性疾患である心筋症について実験する。また、内科診断と治療薬としての α -アドレナリン受容体およびイミダゾリン受容体作用薬の臨床的有用性についての実験を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072200028
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹内 崇			区分	
授業の概要					
中枢および末梢神経系疾患についての電気生理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、小動物および大動物の臨床検査における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域での問題解決能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。さらに、実際に検査機器を操作し、記録を解析することを通して、中枢神経系疾患の機能評価を正しく行うためのステップアップを図る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072200029
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	竹内 崇			区分	
授業の概要					
中枢および末梢神経系疾患についての電気生理学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、疼痛管理における新規物質の効果に対する獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域での問題解決能力を高度化することにある。さらに、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。特に、新規鎮痛物質の探索など、動物のQOL向上を目指して今後必要性が高まる分野に主眼をおき、解析方法を体験するとともに、新規物質の評価方法を他分野に応用できるよう、基礎知識から応用面まで含めて教授する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072200030
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	南 三郎			区分	
授業の概要					
獣医外科臨床における新しい治療技術の開発と特に創傷治癒メカニズムの解明に関する研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の腹腔鏡外科手術の最新技術を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5072200031
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	南 三郎			区分	
授業の概要					
獣医外科臨床における新しい治療技術の開発と特に創傷治癒メカニズムの解明に関する研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の軟部組織における新規物質の効果に対する獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072200032
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 芳晴			区分	
授業の概要					
動物の腫瘍に対する新しい治療技術の開発に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の細胞診の知識と技術を大学院生に提供することであり、この領域に対する問題解決に対する院生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す院生、あるいは既にその業務にある院生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している院生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5072200033
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岡本 芳晴			区分	
授業の概要					
動物の腫瘍に対する新しい治療技術の開発に関する基礎および臨床学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は小動物の腫瘍に対する温熱療法、樹状細胞療法およびがんワクチン療法の獣医学情報を大学院生に提供することであり、院生のこの領域に対する問題解決能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある院生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している院生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻生に対して最新の臨床腫瘍学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072200034
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	菱沼 貢			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学(体外受精 - 胚移植)に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は産業動物および伴侶動物の最新の繁殖技術を大学院生に提供することであり、問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、獣医学のための新しい材料や器材の開発をしている企業をめざす、あるいは既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教授することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床繁殖学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
獣医繁殖学 第3版 / 浜名・中尾・津曲:文永堂出版,2006					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072200035
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	永野 昌志			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5072300001
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
母子境界領域における免疫応答に関する機能形態学的研究					
授業の一般目標					
この演習の目的は、細胞組織化学における最新の技術を大学院生に提供することであり、この領域に対する技術力を大学院生に習得させることにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と手法の獲得程度を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072300002
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	木曾 康郎			区分	
授業の概要					
母子境界領域における免疫応答に関する機能形態学的研究					
授業の一般目標					
この実験の目的は、細胞組織化学における最新の技術を大学院生に実際に提供することであり、この領域に対する大学院生の実践力を養うことにある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と実験成績を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5072300003
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	本道 栄一			区分	
授業の概要					
生殖生物学講義と連携させる。各自一つのテーマを持ち、開講期間を通じて文献を調査し、各々のテーマについて理解を深める。調査した内容を他の受講者に発表することで発表能力の向上を目指す。また、各自のテーマを持ち合って討論する場を作り、生殖の意義について受講者個人の考えを持たせる。					
授業の一般目標					
受講者が固有の生物観を表現できるようになること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 最新の生殖生物学までの理解					
成績評価方法(総合)					
発表、討論のみによる評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5072300004
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	本道 栄一			区分	
授業の概要					
生殖生物学研究を遂行する上での幅広い技術の修得を目指す。組織分離、培養、構造・遺伝子・タンパク質解析といった一連の基礎技術を修得させる。					
授業の一般目標					
生殖生物学に限らず、生物学全般に有用な技術を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 生殖生物学研究の土台となる技術の理解・習得					
成績評価方法(総合)					
討論のみ					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5072300005
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
脊椎動物の運動の統合神経制御の運動学、筋電図学、神経生理学、神経解剖学的、生化学的方法を用いた研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は動物の動物たる所以である動くこと(Locomotion)のハードとソフトを理解することによって動物、特に脊椎動物自体を理解することを目的とする。脊椎動物、つまり脊柱を持つ動物の歴史は約4億年前のカンブリア紀に始まったと考えられている。脊索動物が魚類になって遊泳運動を高度に発達させた。その魚類の中から水底生活に適応するために鱗を肢にかえたものが現れ、この中から陸上に這い上がり、陸上を4肢で歩きだした。両生類、爬虫類と陸上での歩行を発達させ、哺乳類(4足哺乳類)では galloping という最も高速で陸上を移動できる歩行を獲得した。そして700万年に樹上生活を営んでいた哺乳類のなかから2足直立歩行をはじめた我々人類が生まれたと考えられている。このように脊椎動物の進化の過程は locomotion の進化でもある。Locomotion は動物の種類によって異なり、動物の種類を特徴付ける。ka 体のすべての器官はその動物の locomotion に対応しており、また locomotion は体を変化させる。つまり locomotion を理解することが動物自体を理解することといってもよい。本講義は locomotion のソフトつまり神経制御を中心に進めていき動物の生のメカニズムの根本を理解することを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 脊椎動物の進化に伴う中枢神経系の形態・機能の変化の概要を説明できる。					
思考・判断の観点: 脊椎動物の進化に伴う中枢神経系の形態・機能の変化と行動との関連を思考する。					
関心・意欲の観点: 積極的に思考、発言を行う。					
成績評価方法(総合)					
最終試験はインタビューである。統合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5072300006
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
脊椎動物の運動の統合神経制御の運動学、筋電図学、神経生理学、神経解剖学的、生化学的方法を用いた研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は運動の神経制御を理解するため、随意運動、不随意運動の神経経路の刺激、記録を行うものである。生体の統合制御を行う神経系を形態学的、生理学的に評価する方法を会得し、その評価法を理解する。					
授業の到達目標					
その他の観点: 生命に対する謙虚な態度					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072300007
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 直己			区分	
授業の概要					
脊椎動物の運動の統合神経制御の運動学、筋電図学、神経生理学、神経解剖学的、生化学的方法を用いた研究					
授業の一般目標					
前期と同様である。この授業の目的は運動の神経制御を理解するため、随意運動、不随意運動の神経経路の刺激、記録を行うものである。生体の統合制御を行う神経系を形態学的、生理学的に評価する方法を会得し、その評価法を理解する					
授業の到達目標					
その他の観点:生命に対する謙虚な態度					
成績評価方法(総合)					
統合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072300008
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 晃一			区分	
授業の概要					
この特別実験の目的は、獣医学のみならず生命科学分野における薬理学に関する最新の情報と技術ならびに基礎的な技術を提供することであり、この領域における問題解決に対する学生の技術を高度化することにある。前期の授業を踏まえ、更に高度な実験を行う。					
授業の一般目標					
生体の機能と薬物作用の関係について古典的手法から、各種の病態モデル動物作成法や蛍光指示薬等を用いた最先端の実験まで幅広い知識を身につけるとともに、実際の実験手技について習得させる。本実習は専攻学生に対して最新の薬理学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 大学院生として基礎的な実験に関する知識を理解する。					
思考・判断の観点: 基礎的な実験から、さらに応用実験へ発展させることができる。					
成績評価方法(総合)					
出席状況を重視する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
佐藤晃一、農学部 106 号室。					
オフィスアワー					
いつでも可					

開設期	後期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	5072300009
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	前田 健			区分	
授業の概要					
獣医感染症の病態解析とその制御					
授業の一般目標					
病原微生物と自然宿主との共存関係を正しく理解し、感染症の病態発現機序、およびその予防・治療法を学ぶことを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
病原微生物と自然宿主との共存関係を正しく理解し、感染症の病態発現機序、およびその予防・治療法を学んだ成果を問う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5072300010
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	前田 健			区分	
授業の概要					
獣医感染症の病態解析とその制御					
授業の一般目標					
各種感染症に関する最新の論文・総説を取り上げ、個々の感染症に関する問題点を把握し、その解決法に関して調査し、発表を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各種感染症に関する最新の論文・総説を取り上げ、個々の感染症に関する問題点を把握し、その解決法に関して調査し、発表を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072300011
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	前田 健			区分	
授業の概要					
獣医感染症の病態解析とその制御					
授業の一般目標					
ウイルス感染症に関する幅広い最新の実験手技を修得するとともに、疫学調査を通じて結果に関する解析能力を養成する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
理解・習得度を確認すると共にその応用力を問う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072300012
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
感染症学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を学ぶ。これにより、この領域における問題解決能力を高度化するとともに、今後の研究や臨床面におけるその適応能力を高める。					
授業の一般目標					
この授業の目的は、感染症学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を習得する事にある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
積極的な討論への参加が必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072300013
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	西垣 一男			区分	
授業の概要					
感染症学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を学ぶ。これにより、この領域における問題解決能力を高度化するとともに、今後の研究や臨床面におけるその適応能力を高める。					
授業の一般目標					
この授業の目的は、感染症学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を習得する事にある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
積極的な討論への参加が必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072300014
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
免疫疾患を理解するために、免疫系ではどのようにして細胞同士がコミュニケーションし、あるいは協同する事によって免疫応答を起こすかについて、T細胞活性化、TH1/Th2分化、マクロファージの活性化と免疫担当細胞の炎症部位への浸潤等について最新の情報を学ぶ。					
授業の一般目標					
免疫系の基本的概念の習得。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072300015
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 俊春			区分	
授業の概要					
免疫病理学のメカニズムの解析のための多くの新しい手技の習得。					
授業の一般目標					
免疫反応に関与する液性因子と細胞の取扱いの習得。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072300016
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	井上 誠			区分	
授業の概要					
小動物における腫瘍発生についての分子生物学的および免疫組織化学的研究					
授業の一般目標					
本演習の目的は小動物と人の腫瘍発生・悪性化の機構における分子遺伝子レベルの変化についての最新情報を習得し、この領域の問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。本演習では、イヌとネコの腫瘍発生機構に注目し、さらに動物と人の腫瘍発生・悪性化の過程における癌遺伝子の過剰発現とサイクリン依存性キナーゼ・インヒビター(CDKIs)の異常発現の差異を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
成績評価は修行外レポートと受講者の発表で行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072300017
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	井上 誠			区分	
授業の概要					
小動物における腫瘍発生についての分子生物学的および免疫組織化学的研究					
授業の一般目標					
本実習の目的は小動物と実験動物の腫瘍における癌遺伝子の過剰発現およびサイクリン依存性キナーゼ・インヒビター(CDKIs)と癌抑制遺伝子異常発現の基礎的解析方法を習得することにある。小動物腫瘍およびメチルコラントレン(MC)誘発マウス皮膚腫瘍におけるMdm2癌遺伝子、p27, p21 CDKIsおよびp53癌抑制遺伝子発現を免疫組織化学的染色法とマイクロアレイを用いて解析する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業内での製作標本の解析と授業外でのレポートで行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072300018
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	森本 将弘			区分	
授業の概要					
実験計画から結果考察までを通して、学術論文作成に関わる情報取得から発表方法について実施することにその基本的な知識を習得する。					
授業の一般目標					
論文作成に関する知識と論理的思考法を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 論文作成に関しての基本知識や作成上の注意点の理解					
思考・判断の観点: 作成に関しての論理的な思考法の確立					
関心・意欲の観点: 情報収集に関しての広がりを見る					
技能・表現の観点: プレゼンテーションに関する技能を見る					
成績評価方法(総合)					
各レポートとプレゼンテーションの結果から総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5892					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5072300019
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	森本 将弘			区分	
授業の概要					
種々の病理発生を機構を解析するための実験に必要な様々な手技(遺伝子、蛋白等)の習得					
授業の一般目標					
実験手技の習得					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 各種実験方法の原理に関する知識とその理解。					
思考・判断の観点: 実験手技でのトラブルシューティング可能とする。					
関心・意欲の観点: 実験開始時における、理解深度。					
態度の観点: 積極的に行っているかどうか。					
技能・表現の観点: 結果に関する考察等の表現。					
成績評価方法(総合)					
課題レポートと出席により総合的に評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5892					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5072300020
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
家畜の免疫学的機能評価のためのサイトカイン・免疫担当細胞についての分子生物学的および細胞免疫学的研究					
授業の一般目標					
感染症における免疫病態発現と診断・予防法に関する最新の知見について討論し、特にサイトカインプロファイルやケモカインに焦点を当て、各種感染症および過敏症における免疫防御メカニズムについて幅広い知識を習得し、各自の研究の位置づけを明確にする。尚、内容については個人の研究内容に応じて変更することがある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
宿題授業外レポート50%, 受講者の発表50%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072300021
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	岩田 祐之			区分	
授業の概要					
家畜の免疫学的機能評価のためのサイトカイン・免疫担当細胞についての分子生物学的および細胞免疫学的研究					
授業の一般目標					
生体材料からの感染体の検出を遺伝子診断法, 定量 PCR 法, 免疫組織学的手法により行い, 同時に感染体の分離同定を行う。さらに, 免疫応答に関与する様々な細胞機能病態を細胞表面マーカーおよびサイトカインの点から遺伝子, 蛋白, 細胞レベルで解析する。また, マイクロアレイ法を駆使して過敏症における新規マーカーの同定を試みる。技術的には, 各自の研究に役立てることを目的に, モノクローナル抗体の作製法, フローサイトメーター, 定量 PCR 法, マイクロアレイ法などについて教授する。尚, 内容については個人の研究内容に応じて変更することがある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
宿題授業外レポート 50%, 受講者の発表 50%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
Iwata, H: E-mail hiwata@yamaguchi-u.ac.jp, TEL 5899, Lab.Vet.Hygiene Kato, H: E-mail kato@yamaguchi-u.ac.jp, TEL 5899, Lab.Vet.Hygiene					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5072300022
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	加藤 大智			区分	
授業の概要					
動物の免疫応答および生体防御機構に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
動物の基本的な免疫応答および生体防御機構について解説し、ワクチン開発の最前線について概説する。また、病原体媒介節足動物(ベクター)由来成分の宿主の生理機能や免疫応答へおよびす役割や、それを利用した新たなワクチン開発研究についても概説する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席・レポート重視					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5072300023
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	加藤 大智			区分	
授業の概要					
動物の免疫応答および生体防御機構に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
感染症に対する宿主の生体防御免疫応答や免疫学的診断法に関する最新の知見について討論し、近年のワクチン開発の進展ならびに問題点について討議する。尚、内容については個人の研究内容に応じて変更することがある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席・演習を重視する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072300024
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	加藤 大智			区分	
授業の概要					
動物の免疫応答および生体防御機構に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
動物およびベクターの検体からの病原体の検出を分子生物学的手法や病原体培養法、免疫組織化学法および分子生物学的手法を用いて行う。病原体の同定、ベクター種の同定を分子生物学的手法や形態学的手法を用いて行う。また、宿主免疫応答の解析を細胞学的手法や免疫学的手法を用いて行う。さらに種々のワクチンの作製や接種方法についても教授する。尚、内容については個人の研究内容に応じて変更することがある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席・意欲重視					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火1~2	時間割コード	5072300025
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
この授業の目的は将来的な研究者, 教育者, 臨床家として必要不可欠な問題提起能力とその具体的解決法の立案能力, 発表能力を身につけることにある。					
授業の一般目標					
この授業の目的は将来的な研究者, 教育者, 臨床家として必要不可欠な問題提起能力とその具体的解決法の立案能力, 発表能力を身につけることにある。また、授業を一貫して、他者の発表に対して正当かつ批判的な意見を述べることも要求される。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究者として十分なシミュレーション能力を有するかを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072300026
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	奥田 優			区分	
授業の概要					
この授業の目的は分子生物学的手技を会得し, 将来的に未知の手技に対しても臆することなく対応できる人材を養成することである。個々のテーマによって実際に行う手技は多様であるが, 講義内容に示した手技が主に行われる。					
授業の一般目標					
この授業の目的は分子生物学的手技を会得し, 将来的に未知の手技に対しても臆することなく対応できる人材を養成することである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究者として十分な能力を有するかを総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
奥田優(okudamu@yamaguchi-u.ac.jp)					
オフィスアワー					
木曜日 14:00-15:00					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5072300027
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
<p>獣医寄生虫病学では、獣医臨床(コンパニオンアニマル・産業動物)と公衆衛生に関わる代表的な蠕虫症や原虫病について最新の情報を提供し、診断・治療と予防方針について理解を深める。また、近年問題となっている動物由来寄生虫症(幼虫移行症)の予防については、さまざま社会的立場にある獣医師が今後連携し中心的役割を担っていくことが期待されている。この問題をとりまく現状と今後の対応を考える場を特に提供したい。</p>					
授業の一般目標					
公衆衛生・動物衛生に関わる主要な寄生虫について、その基礎尾生物学と疫学について理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
講義への積極的な参加を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部 207 号室					
オフィスアワー					
在室なら随時					

開設期	後期	曜日時限	金 5～6	時間割コード	5072300028
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
人体寄生虫病学研究の最新研究を「The American Journal of Tropical Medicine and Hygiene」掲載の論文から選び、その方法論と得られた結果を検討することで、寄生虫病学研究を進める基礎技術について理解を深める。また、その論文の意義について考察することで、当該疾患の置かれている現況と今後解決されるべき研究点について理解を深める。					
授業の一般目標					
公衆衛生・動物衛生に関わる寄生虫の疫学的監視とその基礎生物学的研究の意義について理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
自主学習、対話形式の講義への積極的な参加を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
農学部 207 号室					
オフィスアワー					
在室なら随時					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072300029
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	佐藤 宏			区分	
授業の概要					
公衆衛生・動物衛生に関わる寄生虫の疫学的監視とその基礎生物学的研究手法を学ぶ					
授業の一般目標					
獣医臨床(コンパニオンアニマル・産業動物)や公衆衛生に関わる獣医寄生虫病学の現場で課題となる点について、実際に調査・研究計画を立案し解析を進め、具体的な研究実技の修得を目指す。また、得られた結果について考察し、研究論文型式でまとめることで、調査・研究能力の育成を図る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
寄生虫学的な調査・研究能力の育成度を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5072300030
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	水野 拓也			区分	
授業の概要					
科学論文の書き方を学ぶ。科学論文を書くストラテジーを一つずつ示す事により、科学論文を書く楽しさを理解する。また、自分自身の意見をプレゼンテーションする技術を学ぶ。					
授業の一般目標					
科学論文を書くために必要な考え方を理解するとともに、自分自身で論文を書く技術を身につける。またうまくプレゼンテーションし、自分自身のデータを世の中にアピールできるようになることを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
最終試験としての発表および授業内での発表およびレポートにより採点する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072300031
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	水野 拓也			区分	
授業の概要					
前期に学んだ様々な手法を、実際に臨床的に免疫介在性疾患を診断、治療するにあたってどのように用いるのかを学ぶ。					
授業の一般目標					
臨床で出会う様々な免疫介在性疾患を診断する際、臨床症状やそれ以外の情報から診断に必要な免疫学的検査を選び、診断に至る過程を学ぶことが目標である。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 免疫介在性疾患の診断に使用する検査について理解する。					
関心・意欲の観点: 診断を漠然としている疾患の検査について詳細を理解する。					
成績評価方法(総合)					
毎回の授業での参加度および実験手技に関するレポート、および最終試験により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	5072300032
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	～
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
獣医臨床における移植免疫・臓器保存・人工臓器・関節疾患・中枢神経疾患・免疫調整法等を含む臨床免疫学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、獣医臨床における移植免疫、臓器保存、人工臓器、関節疾患、中枢神経疾患、CTやMRIなどの画像診断、免疫調整法等を含む臨床免疫学および臨床外科学における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教受することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床免疫学および臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究を進めるにあたっての基礎的な事項を理解し、身に付けているか。					
思考・判断の観点: 論理的な思考法ができていないか。					
関心・意欲の観点: 研究に対する意欲を持ち、自主的に文献検索、実験の計画作成・実行ができるか。					
態度の観点: 研究を自主的かつ積極的に行うことができるか。					
技能・表現の観点: 研究の基本技術を取得しているか。また、論理的に研究内容をまとめ、発表することができるか					
成績評価方法(総合)					
動物医療センターの外来及び手術、スライドやプリント、DVD 等を使った講義、e-ラーニングの活用、特別講義や学会等への参加や発表等をもって総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
動物医療センターの外来及び手術、スライドやプリント、DVD 等を使った講義、e-ラーニングの活用、特別講演や学会等への参加や発表等をもって総合的に行う。					
連絡先					
e-mail ytaura@yamaguchi-u.ac.jp					
電話: 933 - 5934 研究科長室					
オフィスアワー					
随時					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5072300033
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
獣医臨床における移植免疫・臓器保存・人工臓器・関節疾患・中枢神経疾患・免疫調整法等を含む臨床免疫学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、獣医臨床における移植免疫、臓器保存、人工臓器、関節疾患、中枢神経疾患、CTやMRIなどの画像診断、免疫調整法等を含む臨床免疫学および臨床外科学における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教受することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床免疫学および臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072300034
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	田浦 保穂			区分	
授業の概要					
獣医臨床における移植免疫・臓器保存・人工臓器・関節疾患・中枢神経疾患・免疫調整法等を含む臨床免疫学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は、獣医臨床における移植免疫、臓器保存、人工臓器、関節疾患、中枢神経疾患、CTやMRIなどの画像診断、免疫調整法等を含む臨床免疫学および臨床外科学における最新の獣医学情報を大学院生に提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、小動物臨床医、大動物臨床医を目指す学生、あるいは既にその業務にある学生のみならず、既に企業に就職している学生に対しても最新の知識を教受することにある。獣医師はあらゆる領域の臨床現場において、様々な問題と直面しており、とくに動物とオーナーはその運命を獣医師の知識と能力に支えられていることから、本授業は専攻学生に対して最新の臨床免疫学および臨床外科学を学び取る必要性に答えるものである。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072300035
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
病気を含むあらゆる生命現象を細胞レベルで理解する事は現代生命科学の主要な流れになっており、受講学生は、本授業により、将来、研究や臨床を発展させるために必要な分子細胞生物学の基礎的な知識や考え方を習得する。					
授業の一般目標					
この授業の目的は生命現象の基本を細胞レベルで理解する事、さらに細胞を分子の基礎から理解する事である。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
少人数のゼミ形式の講義であるので参加者の積極的な態度が評価に大きく寄与する。					
教科書					
参考書					
分子細胞生物学 第5版 / H.Lodish 他, :東京化学同人, 2005					
メッセージ					
連絡先					
農学部 202					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072300036
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山本 芳実			区分	
授業の概要					
分子細胞生物学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を学ぶ。これにより、この領域における問題解決能力を高度化するとともに、今後の研究や臨床面におけるその適応能力を高める。ここでは主として核酸について学ぶ。					
授業の一般目標					
この授業の目的は、分子細胞生物学の基本的な技術における原理、方法、具体的な応用の実例を習得する事にある。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
討論への積極的な参加が必須である。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	5072300037
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	利部 聡			区分	
授業の概要					
最新の細胞生理学に関する、実験・技術を教える。					
授業の一般目標					
基本的な手技を習得する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 関連学会で発表された新知見を概説する。					
関心・意欲の観点: 基本的な手技を習得し、さらに工夫を重ねる。					
成績評価方法(総合)					
出席・態度で評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5072300038
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
獣医腫瘍性疾患に対する診断と治療に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
獣医領域における腫瘍性疾患への対応は、重要な課題である。本講義では、小動物の腫瘍性疾患に対する最新の診断と治療技術を理解することを目的とし、獣医腫瘍学における最新の画像診断技術、手術・放射線などによる集学的治療手段に関する講義を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と試験成績による					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5072300039
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
獣医腫瘍性疾患に対する診断と治療に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
獣医領域において遭遇する腫瘍性疾患罹患動物に対する実際的な対処法について学ぶ。具体的には、獣医領域における腫瘍性疾患に対する治療戦略、MRI や CT などの最新の画像診断手技、外科手術手技の基礎と応用、放射線治療の計画立案と実践などについて解説・演習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と試験成績による					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072300040
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中市 統三			区分	
授業の概要					
獣医腫瘍性疾患に対する診断と治療に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
小動物臨床において効率的な癌の診断と治療を行うために必要な基礎的知識を実験および実習を通じて理解を深めることを目的とする。主に培養細胞を用いておこなう in vitro および in vivo 実験法により腫瘍細胞を用いた基礎的実験法を学び、さらには画像診断手技、腫瘍外科手術手技を実習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と試験成績による					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3～4	時間割コード	5072300041
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	～
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
動物の生殖機能障害の病態を内分泌学的に解明するとともに、ホルモンによる生殖の人為支配技術を開発する					
授業の一般目標					
生殖にかかわるホルモンの合成、分泌およびそれらの調整機構を最新の知識に基づいて理解することなしには、動物の生殖獣医療の進歩は期待できない。本演習においては、主要なホルモンについて、これらの合成・分泌異常によって発生する繁殖障害の病態を理解し、その上で、これらのホルモンの臨床的応用の理論を学ぶ。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 3～4	時間割コード	5072300042
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	中尾 敏彦			区分	
授業の概要					
動物の生殖機能障害の病態を内分泌学的に解明するとともに、ホルモンによる生殖の人為支配技術を開発する					
授業の一般目標					
血漿、乳汁、尿、糞、あるいは唾液中のホルモン濃度測定を、発情周期の判定や妊娠診断などの繁殖管理や卵巣疾患などによる繁殖障害の診断や治療判定に応用する方法を学ぶ。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072300043
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学(クローン、体外受精等)に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
生殖工学技術に必須の卵子・精子の基本操作方法を学ぶ。本演習は、ウシ・ブタ・イヌ・ネコの卵子・精子の基本操作を解説・演習する。特に本演習では、それぞれの生殖工学技術における卵子・精子・胚の操作理論と重要なポイントを解説し、配偶子操作過程の理解を深めることを目的とする。また、異なる動物種における卵子・精子の相違性を理解すると共に、その違いが生殖工学技術においてどのように展開されているか演習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072300044
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	音井 威重			区分	
授業の概要					
動物の生殖工学(クローン、体外受精等)に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
生殖工学技術に必須の卵子・精子の基本的操作方法を学ぶ。本実験は、ウシ・ブタ・イヌ・ネコの卵子・精子を使って実験する。特に、それぞれの種における卵子・精子・胚の体外培養・受精技術を解説するとともに、これら技術を習得する。最終的には、培養液の調整を含む体外受精技術の全般における技術修得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072300045
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	度会 雅久			区分	
授業の概要					
病原細菌の感染機構に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
病原細菌と宿主の相互作用、特に細菌の病原因子および宿主の免疫応答に関する最新の知見について討論し、感染を防御する手法について議論する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート等					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072300046
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	度会 雅久			区分	
授業の概要					
病原細菌の感染機構に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
病原細菌の基本的な取り扱い法を学ぶ。また、培養細胞を用いた細胞内寄生菌の感染実験を行い、細菌の感染機構を解析するための基礎的技術を修得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート・プレゼン等					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072400001
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村上 隆之			区分	
授業の概要					
動物の心臓・血管・リンパ管の正常形態、発生及び発生異常等の肉眼的、光学顕微鏡的、電子顕微鏡的追求についての研究					
授業の一般目標					
心大血管奇形の実態を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072400002
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村上 隆之			区分	
授業の概要					
動物の心臓・血管・リンパ管の正常形態、発生及び発生異常等の肉眼的、光学顕微鏡的、電子顕微鏡的追究についての研究					
授業の一般目標					
解剖学に必要な技術の習得。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5072400003
開設科目名	基礎獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	那須 哲夫			区分	
授業の概要					
鳥類の脈管系の発生学的比較解剖学的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は博士課程の学生が形態学における基礎的な知識を習得することにある。鳥類における血管の詳細な形態、走行を肉眼的、電顕的な面から講義し、哺乳類のそれと比較することにより、大学院学生に血管の発生を理解させようとするものである。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 鳥類の血管系を学ぶことにより、哺乳類血管系の成立の発生学的根拠を理解する。					
成績評価方法(総合)					
中間試験、最終試験および出席日数を規準にして評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水1~2	時間割コード	5072400004
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	那須 哲夫			区分	
授業の概要					
鳥類の脈管系の発生学的比較解剖学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5072400005
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	那須 哲夫			区分	
授業の概要					
鳥類の脈管系の発生学的比較解剖学的研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火3~4	時間割コード	5072400006
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村上 昇			区分	
授業の概要					
哺乳類と鳥類の生体リズム機構、摂食機構、および生殖機構に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水5-6	時間割コード	5072400007
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	村上 昇			区分	
授業の概要					
哺乳類と鳥類の生体リズム機構、摂食機構、および生殖機構に関する研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072400008
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中原 桂子			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072400009
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	中原 桂子			区分	
授業の概要					
哺乳類と鳥類の生体リズム機構、摂食機構、および生殖機構に関する研究					
授業の一般目標					
種々の実験を通して生殖機構の理解を高めることを目的としている。前期は主に、排卵や性行動を制御する神経機構を理解するための実験を行う。また、ステロイドホルモンによる中枢の性の決定や生体リズムと排卵がどのように関係しているのかを実験を通して確かめる。加えて、基礎研究技術としてホルモンの測定法を身につける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1～2	時間割コード	5072400010
開設科目名	基礎獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	伊藤 勝昭			区分	
授業の概要					
薬物をはじめとする生理活性物質の細胞レベル、すなわち細胞膜や細胞内小器官への作用機序の解明についての研究					
授業の一般目標					
学生が自分の研究テーマに関連する研究論文を理解・批判する能力を主にセミナー形式でディベートを通じて涵養し、かつ学生の研究成果を英語論文で表現する能力を個人指導によって向上させる。また科学的思考法をマスターすることも含まれる。後期は論文作成能力の向上に中心を置く。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 論理的に考えたことを文章や画像で表現できるようになること。データの解釈に当たって、様々な角度から検証し、結論に導くことができること。					
技能・表現の観点: 論文作成技術、「考察」の書き方。適切な文献引用ができること。					
成績評価方法(総合)					
論文作成に自主的に取り組んだか、指導教員と不断にディスカッションしたか、期限内に論文第 1 稿を仕上げたか、自らアイデアを考え出し、それを発展させることができるようになったか等を評価の基準とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5～6	時間割コード	5072400011
開設科目名	基礎獣医学特例実験			単位	1 単位
対象学生				学年	～
担当教員	伊藤 勝昭			区分	
授業の概要					
薬物をはじめとする生理活性物質の細胞レベル、すなわち細胞膜や細胞内小器官への作用機序の解明についての研究					
授業の一般目標					
<p>アケアポリン分子(以下 AQP と略す)は、動物界から植物界に渡る様々な生物に見られる膜タンパク質分子である。現在までに AQP0～AQP12 の 13 種類の分子種が哺乳動物においては同定されている。ほとんどの細胞において AQP 分子は細胞膜に発現していて、細胞内外の水輸送を調節している。また、浮腫やある種の腎疾患など、水分の異常な動きを伴う疾患において AQP 分子種が重大な役割を果たしていることも明らかになってきている。従って、AQP 分子はそれらの疾患の治療薬を開発する上で、魅力的な標的分子である。本コースでは、生体が恒常性を維持するために如何に水分子を利用しているか、そしてその破綻がどのようにして疾患を引き起こすのかを理解するために、分子生物学的手法を用いて AQP 分子を研究する。この実験を通して、問題を提起すること、そして解決することなどの能力を学生に身に付けさせたい。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	5072400012
開設科目名	基礎獣医学特特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	池田 正浩			区分	
授業の概要					
科学論文を作成することを通して、第三者が納得できる論文作成能力を身につける。さらに、研究者としての倫理観も身につける。					
授業の一般目標					
学生が自分の研究テーマに関連する研究論文を理解・批判する能力を主にセミナー形式でディベートを通じて涵養し、かつ学生の研究成果を英語論文で表現する能力を個人指導によって向上させる。また科学的思考法をマスターすることや適切な実験データを紹介することなどを通して研究者に求められる倫理観を身につけることも含まれる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金5-6	時間割コード	5072400013
開設科目名	基礎獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	池田 正浩			区分	
授業の概要					
急性腎不全を題材に、生理学的・薬理学的実験技術を身につける。また、動物実験の在り方についても考えさせる。					
授業の一般目標					
急性腎不全は临床上頻りに遭遇する症候群で、糸球体ろ過量の低下と窒素代謝物の体内蓄積を特徴とする。特異的な治療薬は無く、治療は対症療法に頼っている。虚血は急性腎不全の重要な原因である。最近になり、この虚血による急性腎不全に、腎内の炎症反応が深く関わっていることが、腎不全の動物モデルを用いて明らかにされてきている。本コースでは、急性腎不全モデルにおける炎症性サイトカインの腎内レベルを測定する。さらに、最近急性腎不全モデルを用いて効果がある可能性が報告されているT細胞やB細胞に効く薬の評価も行う。そしてこれらの実験を通して、実験方針を決定すること、実験を計画すること、そして実験を実施することなどの能力を学生に身に付けさせたい。また、動物実験の在り方を考えさせる契機にもしたい。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5072400014
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	後藤 義孝			区分	
授業の概要					
感染症の制御を目指した感染性病原体ならびに宿主の分子生物学的・免疫学的研究					
授業の一般目標					
このコースは感染病態学分野の科学論文を読みこなす能力と、学生自らが論文を書くために必要な能力を基本的なトレーニングの場を提供する。ここでは学生自身が進めている研究も取り上げ、原著をもとに関係教員とディスカッションを行う。後期は細菌感染症をコントロールする宿主側因子およびワクチンアジュバントにおけるサイトカインの役割などが中心となる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072400015
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	後藤 義孝			区分	
授業の概要					
感染症の制御を目指した感染性病原体ならびに宿主の分子生物学的・免疫学的研究					
授業の一般目標					
このコースは感染病態学に関連し日常的に用いられる手法について基礎知識と技術を提供する。実験手順に基づきそれらの原理についても学ぶ。前期は細菌培養法や動物細胞培養法、ウイルスの増殖法とそれらの定量法、免疫ではELISA法や中和反応、分子遺伝学的手法としてPCR法やRT-PCR法をとりあげる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月1~2	時間割コード	5072400016
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	芳賀 猛			区分	
授業の概要					
感染症の制御に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
この演習では大学院学生に感染症の発病機序や制御に関する研究手法を解説・紹介し、当該分野の科学的諸問題を解決し、応用するための能力を開発することを目的とする。研究手法の原理を理解した上で、その応用について演習を行う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072400017
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	芳賀 猛			区分	
授業の概要					
感染症の制御に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
本実験では大学院学生に感染症の発病機序や制御に関する基本的研究手法を解説すると共に、これらの技術を習得する。当該分野の科学的諸問題を解決し、応用するための能力を開発することを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072400018
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 良二			区分	
授業の概要					
動物の感染症について生体側の反応因子と病原体側の病原性因子についての研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072400019
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	山口 良二			区分	
授業の概要					
動物の感染症について生体側の反応因子と病原体側の病原性因子についての研究					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月3~4	時間割コード	5072400020
開設科目名	病態・予防獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	永友 寛司			区分	
授業の概要					
産業動物に多発する感染性疾患の病原体検索、早期診断法の開発、感染予防法の確立についての研究					
授業の一般目標					
産業動物に多発する感染性疾患の病原体検索、早期診断法の開発、感染予防法の確立についての研究					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 1~2	時間割コード	5072400021
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	永友 寛司			区分	
授業の概要					
産業動物に多発する感染性疾患の病原体検索、早期診断法の開発、感染予防法の確立についての研究					
授業の一般目標					
この演習では、マイコプラズマ病と病原性大腸菌症について、国内の現状を詳細に検討し、牛、豚、鶏の感染症予防方法に関する現状と問題点について、院生とともに考察する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072400022
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	永友 寛司			区分	
授業の概要					
産業動物に多発する感染性疾患の病原体検索、早期診断法の開発、感染予防法の確立についての研究					
授業の一般目標					
この実験では、前期での経験に基づき、Ureaplasma と病原大腸菌症の病変材料を用いて培養・分離・同定方法を練習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072400024
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	末吉 益雄			区分	
授業の概要					
この演習では、マイコプラズマ病と病原性大腸菌症について考察する。					
授業の一般目標					
マイコプラズマ病と病原性大腸菌症について、国内の現状を詳細に検討し、牛、豚、鶏の感染症予防方法に関する現状と問題点について、院生とともに考察する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	火5-6	時間割コード	5072400025
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	末吉 益雄			区分	
授業の概要					
この実験では、Ureaplasma と病原大腸菌の培養・分離・同定方法を教授する。					
授業の一般目標					
この実験では、前期での経験に基づき、Ureaplasma と病原大腸菌症の病変材料を用いて培養・分離・同定方法を練習する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5072400026
開設科目名	病態・予防獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	三澤 尚明			区分	
授業の概要					
感染症の早期診断、治療、防疫、制御法などを実践に即しながら習得する					
授業の一般目標					
感染症の早期診断、治療、防疫、制御などの指導ができる獣医師の養成を目指す					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	金 5-6	時間割コード	5072400027
開設科目名	病態・予防獣医学特別実験			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	三澤 尚明			区分	
授業の概要					
人獣共通感染症の早期診断やより高度な診断法など習得する					
授業の一般目標					
病原細菌を診断したり病原因子を解析するためのより高度な技術を習得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5072400028
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	堀井 洋一郎			区分	
授業の概要					
動物の寄生虫免疫学、消化管粘膜免疫学に関する臨床及び基礎的研究					
授業の一般目標					
この授業の目的は実験動物と寄生虫を用いたモデルでの寄生虫病の解析技術の理解や、実際の寄生虫疾患をいかに正しく実験室レベルで解析可能なモデルシステムを構築するかを習得することにある。家畜の寄生虫疾患は世界的な規模で存在し、その多くの対策は未解決なままである。一方、大家畜を使用した感染実験には場所や費用の点で制約が多く、これらが寄生虫疾患の解析を遅らせている。この授業では、実験動物の免疫や生理学的特性を正しく理解させ、本来の宿主動物での免疫応答のモデル解析をおこなうための実験の応用範囲と限界を知ることにより、実用的なモデルシステムを作成する能力を養う。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	月5-6	時間割コード	5072400029
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	堀井 洋一郎			区分	
授業の概要					
この授業の目的は寄生虫実験感染や野外での感染例を対象に、大学院生に寄生虫感染症の免疫学的解析法の実際の技術や評価の仕方を提供することであり、この領域にたいする問題解決に対する学生の能力を高度化することにある。この授業の目的として、トライ・アンド・エラーを繰り返しながら、講義や演習のみでは伝え切れない、微妙なノウハウを体得してもらうことがあげられる。実験の場合、成功するだけでなく、失敗にこそ多くの可能性が含まれていることを、失敗の原因を正確に解析し、改善点を明確にするまで指導することにより理解させる。科学的実験の目的と結果の評価が正しくできる能力を育む。					
授業の一般目標					
動物の寄生虫免疫学、消化管粘膜免疫学に関する臨床及び基礎的研究					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木1~2	時間割コード	5072400030
開設科目名	臨床獣医学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	方本 宏			区分	
授業の概要					
動物の臨床栄養学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
近年、産業動物における集約的飼養管理は新たな代謝性疾患の多発を招き、環境や栄養的ストレスは易感染性を生じる原因ともなっている。本講義は、和牛の脂肪壊死症、乳牛の脂肪肝の発生機序を解説するとともに、治療・予防法に関する研究を紹介する。さらに、免疫機能に関連する微量栄養素(ビタミン・ミネラル)の応用的研究を紹介する。本講義は、専攻学生に対して最新の臨床栄養学を学び、臨床における代謝性疾患の診断・治療・予防法に関する理解を深める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3~4	時間割コード	5072400031
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	方本 宏			区分	
授業の概要					
動物の臨床栄養学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
臨床栄養学の診断・評価に必須の基本的実験法を学ぶ。本演習は、動物の栄養状態や免疫機能を評価する基本的技術について解説・演習する。特に本演習では、脂質代謝障害の診断、その治療後の評価、ビタミン栄養の評価、液性および細胞性免疫機能の評価法について理解を深めることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木5-6	時間割コード	5072400032
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	方本 宏			区分	
授業の概要					
動物の臨床栄養学に関する基礎および応用的研究					
授業の一般目標					
臨床栄養学の診断・評価に必須の基本的実験法を学ぶ。本実験は、イヌ、ウシおよびそれらの血液を用いて栄養状態や免疫機能を評価する技術を解説するとともに、これらの技術を習得する。最終的には、臨床栄養学実験の全般における技術習得を目指す。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	木3~4	時間割コード	5072400033
開設科目名	臨床獣医学特別演習			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	上村 俊一			区分	
授業の概要					
動物の繁殖生理に関する臨床内分泌学的研究および生殖機能障害の病態解明と治療法の開発					
授業の一般目標					
この演習の目的は、科学論文の読解や、研究発表、会議での討論、学術論文の作成を遂行する能力を向上するためである。さらに、大学院生はこれらの演習を実践することにより、科学的思考法を訓練する。本演習では、学術論文の読解力と発表能力の向上を主題とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	水3～4	時間割コード	5072400034
開設科目名	臨床獣医学特別実験			単位	1単位
対象学生				学年	～
担当教員	上村 俊一			区分	
授業の概要					
動物の繁殖生理に関する臨床内分泌学的研究および生殖機能障害の病態解明と治療法の開発					
授業の一般目標					
この実験の目的は、大学院生に新しい獣医繁殖学の概念について、紹介するものである。二つの大きな主題に分かれ、繁殖システムの構成と繁殖過程の制御、特に排卵から分娩誘起までを教授する。 臨床繁殖学における近年の最新技術について、特にバイオテクノロジー分野における性腺刺激ホルモン放出ホルモンやプロゲステロン製剤の利用、繁殖分野における超音波診断技術を実践する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					